

「放課後子どもプラン」の推進に当たっての関係部局・学校の
連携等について

子どもを取り巻く環境の変化や、家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図るため、文部科学省及び厚生労働省においては、両省連携の下、平成19年度から、総合的な放課後対策として実施する「放課後子どもプラン」を創設することとし、その必要経費を平成19年度予算案に計上しているところです。

「放課後子どもプラン」は、各市町村（特別区を含む。以下同じ。）において、教育委員会が主導して、福祉部局と連携を図り、文部科学省が実施予定の「放課後子ども教室推進事業」（すべての子どもを対象として、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等を行う取組。以下「放課後子ども教室」という。）と、厚生労働省が実施する「放課後児童健全育成事業」（保護者が労働等により昼間家庭にいないおおむね10歳未満の児童に適切な遊び及び生活の場を提供する取組。以下「放課後児童クラブ」という。）を一体的あるいは連携して実施するものです。

また、先般とりまとめられた、教育再生会議第一次報告においても、教育再生実現のため「社会総がかり」での全国的な参画が必要であるとの観点から、「放課後子どもプラン」の全国展開が提言されています。

貴職におかれましては、このような趣旨をご理解いただき、平成19年度からの同プランの円滑な実施が図られるよう、下記の点についてご配慮いただくとともに、管内・域内の市町村、市町村教育委員会及び公立小学校長に対してご周知いただきますようお願いいたします。

記

1 教育委員会と福祉部局の連携について

「放課後子どもプラン」の実施に当たっては、「放課後子どもプラン」の推進について」（平成19年 月 日文部科学省生涯学習政策局長・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長連名通知）に基づき、教育委員会と福祉部局とが緊密に連携を図られたい。

また、子どもが参加しやすい多様な活動機会の提供、事業の指導者やボランティアの確保及び養成、社会教育・子育て支援団体等関係団体との連携などについて両事業間で十分な調整を図り、効果的・効率的な実施に努められたい。

2 学校との連携・協力について

「放課後子どもプラン」の実施に当たっては、子どもの様子の変化や小学校の下校時刻の変更などに対応できるよう、学校関係者と事業管理者等との間で迅速な情報交換・情報共有を行うなど、事業が円滑に進むように十分な連携・協力を図られたい。

なお、学校諸施設を使用する際にも、両事業は学校教育の一環として位置付けられるものではないことから、事業の管理運営は、実施主体である市町村等が責任をもって行うこととなるので留意されたい。

また、障害児や虐待、いじめを受けた子どもなど、特に配慮を必要とする子どもの利用に当たっては、当該子どもの状況等を相互に把握し合い、関係機関とも連携するなど適切に対応されたい。

3 余裕教室をはじめとする学校諸施設の利用促進について

余裕教室をはじめとする学校諸施設の活用については、既に「「地域子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業」の連携及び両事業の推進に当たっての学校との連携について」(平成18年2月10日文科科学省生涯学習政策局長・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長連名通知)によりお願いをしているが、「放課後子どもプラン」は、小学校内での実施を基本としていることから、余裕教室の利用や小学校敷地内での円滑な事業の実施が図られるよう、以下についてより一層留意されたい。

(1) 学校諸施設の弾力的な運用

「放課後子どもプラン」に参加する子どもに、怪我等が発生した場合の保健室や雨天時の体育館等の使用をはじめとして、各種体験・学習・交流活動等に有効な施設(図書室、視聴覚室等)について、その弾力的な運用を図られたい。

また、長期休暇や土曜日等、学校の授業日以外の使用についても、子どものニーズを十分考慮し、柔軟に対応されたい。

さらに、「放課後子どもプラン」に参加する子どもがおおむね当該学校の子どもであることを考慮し、余裕教室が生じている場合には、既存施設の有効活用の観点からも、積極的に「放課後子どもプラン」の実施場所として活用されたい。

(2) 国庫補助を受けて整備された学校施設を転用する場合の財産処分手続について

国庫補助を受けて整備された学校施設を転用する場合には、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」(昭和30年法律第179号)第22条の規定により、所管大臣の承認を経る財産処分手続が必要であるが、公立学校施設の財産処分手続においては、一定の要件を満たせば文部科学大臣への報告だけで手続きが済むよう簡素な取扱いとしているところであるので留意されたい。

なお、「放課後子どもプラン」実施に際して国庫補助を受けて整備された学校施設を使用する場合でも、放課後や学校の授業日以外の時間帯を利用する等により学校施設の転用を伴わない場合は、財産処分手続は不要である。

本通知案は、両省において省内調整中のものであり、今後文言等の変更があり得る。

放課後子どもプラン全国地方自治体担当者会議資料
(文部科学省追加分)

目次

スケジュール(案)・・・・・・・・・・・・・・・・	1
実施要綱(案)・・・・・・・・・・・・・・・・	2
仮申請書(案)・・・・・・・・・・・・・・・・	8
対象経費(教室運営費)について(案)・・・・・・・・	11
学習活動(学びの場)について(案)・・・・・・・・	12
公立学校施設の財産処分手続について・・・・・・・・	13
地域子ども教室と放課後児童クラブの連携・・・・・・・・	14
～地方自治体における取組例～	

「放課後子ども教室推進事業」関連スケジュール(案)

放課後子ども教室推進事業については、19年度からの新規事業と言うこともあり、事前に内定行為を行わなければ、各自治体において4月当初からの速やかな実施が行うことが困難と考える。

そのため、18年度中に仮申請書という形で各自治体より事業申請を受け付け、それに対して内定を行う。

時 期	放課後子ども教室推進事業等(補助金)関連事項		その他事項
	文部科学省	都道府県・指定都市・中核市	
2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 「放課後子どもプラン推進事業」交付要綱等(案)の提示 		<ul style="list-style-type: none"> (1日)放課後子どもプラン連携推進室の設置 (7日)放課後子どもプラン全国地方自治体担当者合同会議 (9日)全国生涯学習・社会教育事務担当者会議
2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 「放課後子どもプラン推進事業」交付要綱等(案)に基づいた仮申請書の提出依頼 概算払の個別協議(対財務省) 		
3月中旬		<ul style="list-style-type: none"> 仮申請書の提出 年度途中での「追加申請」の有無及び規模(箇所数・金額)の確認 	
3月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 「放課後子どもプラン推進事業」交付要綱発出(国会による予算成立日予定) 仮申請書に基づいた内定及び交付申請書の提出依頼 		
4月1日	事業開始日(平成19年度)		

依頼から提出までおよそ1ヶ月を想定

内定については、国会による予算成立日以降

(案)

別添1 放課後子ども教室推進事業等実施要綱

放課後子ども教室推進事業

1 趣 旨

放課後子ども教室推進事業は、全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。

2 実施主体

本事業の実施主体は市町村（特別区を含む。以下同じ。）等とし、事業の一部を適当と認められる民間教育団体等に委託して行うことができるものとする。

3 対象とする子どもの範囲

この事業における子どもの範囲は地域の子どもの全般を想定しているものであり、幼児、児童・生徒等一部の学齢のみを対象とするものではないが、主な対象は小学生の児童である。

4 運 営

本事業の運営は、次により実施するものとする。

(1) 放課後子ども教室の実施

本事業の実施に当たっては、子どもたちの安全管理面に配慮するため、安全管理員を配置することとし、子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の信頼できる者を選任することが望ましい。

本事業の実施に当たっては、学ぶ意欲がある子どもたちに対して、学習機会を提供するため、学習アドバイザーを配置することとし、地域のニーズに配慮しつつ、学習の内容に応じて、子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の信頼できる者を選任することが望ましい。

具体的には、教職を目指す大学生や退職教員、民間教育事業関係者等、地域で活躍している様々な分野の方々が想定される。

本事業は、基本的に、小学校施設（教室や余裕教室、校庭、体育館等）を活用して実施するが、地域の実情に応じて、公民館等の社会教育施設、児童館など、多様な体験活動や交流活動等が安全・安心して活動できる場所で実施することができるものとする。

本事業は、概ね年間を通じて、放課後や週末等に継続的に実施することとするが、地域の実情や活動内容及び地域子ども教室での実績等を踏まえ、実施主体が判断するものとする。

本事業は、地域の大人の参画（無償ボランティアを含む。）を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりに努めるものとする。

本事業の実施に当たっては、地域の子どもの対象とし、参加人数等については、地域の実情や活動内容により実施主体が判断するものとする。

ただし、居住の別や国公立の学校種別等の制限を設けることなく、地域の実

情に応じて、できる限り多くの子どもたちが参加できるよう配慮するものとする。

本事業の趣旨を勘案し、障害を有する子どもたちに対しても、放課後や週末等における体験・交流活動等の場として活用されることが望ましいことから、障害を有する子どもたちが本事業に参加する場合は、個々の状況に配慮した活動を行うために、人的体制の確保等の適切な措置を必要に応じて講じること。

本事業の円滑な実施を図る観点から、都道府県、指定都市及び中核市が実施する安全管理員、学習アドバイザー等を対象とした研修への積極的な参加に努めること。

(2) 運営委員会の設置

市町村は、域内の放課後対策事業（放課後児童クラブを含む。以下同じ。）の運営方法等を検討する運営委員会を設置する。

具体的な検討内容は、事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策、活動プログラムの企画、事業実施後の検証・評価等が考えられる。

運営委員の選定にあたっては、行政関係者（教育委員会及び福祉部局）、学校関係者、放課後児童クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者及び域内の地域住民等の方々を、各地域の実情に応じて適宜選定する。

委員会の開催については、年間をとおして時期の偏りがないよう定期的に開催することに努める。

(3) コーディネーターの配置

市町村は、各小学校区毎に、放課後対策事業の総合的な調整役を担うコーディネーターを配置することとし、各地域の中心的な役割を担い、学校関係者、放課後子ども教室・放課後児童クラブ関係者、地域の団体、保護者などと良好な関係を保ち、定期的に連絡調整を行うことが可能な、子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の信頼できる者を選任することが望ましい。

具体的には、生涯学習インストラクターや民生委員・児童委員等地域に根ざした活動をされている方などが想定される。

コーディネーターは、本事業と放課後児童クラブとの連携についての調整を図ることのほか、保護者等に対する参加の呼びかけ、学校や関係機関・団体等との連絡調整、ボランティア等地域の協力者の確保・登録・配置、活動プログラムの企画等を行う。

(4) 共通事項

市町村は、原則として教育委員会（学校教育や学校安全主管課を含む。）が中心となって、学校、PTA、自治会など地域全体の協力を得て、本事業の実施に当たるものとする。

市町村は、総合的な放課後対策を推進する観点から、厚生労働省の放課後児童クラブと一体的あるいは連携して、域内の子どもたちの放課後子ども教室推進事業への参加促進に努めるものとする。

5 活動内容

本事業においては、次の活動を行うものとする。

- (1) 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保
- (2) 地域の多様な大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の提供

- (3) 様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の涵養
- (4) 地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流による地域コミュニティの充実
- (5) その他子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進するために必要な活動

6 留意事項

本事業の実施主体は、政治的又は宗教上の組織に属さないものであること。

7 費用

- (1) 国は、上記2～6の要件を満たした次の事業に対して補助するものとする。
 - 市町村が直接実施する事業又は民間教育団体に委託して実施する事業に対して、都道府県が補助する事業
 - 都道府県、指定都市及び中核市が直接実施する事業又は民間教育団体に委託して実施する事業
- (2) 本事業の事業費を積算する際は、以下の基準に基づき事業費を計上すること。
 - 放課後子ども教室運営費
 - ・ 安全管理員、学習アドバイザーの配置人数については、国の予算積算人数を参考に、各地域の放課後子ども教室の実情（開催日数や当該学校規模等）に応じて、真に必要な人数を配置する。
 - ・ 安全管理員、学習アドバイザーの謝金単価については、国の予算積算単価を参考に、各自治体の会計基準に基づく単価を設定しても差し支えない。
ただし、それぞれの1人1時間あたりの謝金単価は、安全管理員720円、学習アドバイザー1,080円までを上限として積算するものとする。
（なお、特別な催し物実施のための講師等の謝金単価設定については、経常的に行われたいものと解し、この金額によらなくても差し支えない。）
 - ・ 謝金以外の経費については、通信運搬費、印刷製本費、教材費、事業関係者の保険料、消耗品費等が考えられるが、各地域の実情に応じた教室の運営に必要な経費を適宜積算する。（ただし、おやつ等の飲食物代や、子どもたちの実費相当の保険料・材料費代は除く。）
 - ・ 4(1)に基づき、放課後子ども教室の開設日数について、最低実施日数の考え方はとらないものとする。
 - 運営委員会経費
 - ・ 運営委員会の経費については、委員等謝金・旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、消耗品費等が考えられるが、各自治体の判断により、運営委員会の開催に必要な経費を適宜積算する。
（ただし、飲食物費（当該自治体が認める会議費以外のもの）及び交際費に該当する経費は除く。）
 - コーディネーター経費
 - ・ コーディネーターの配置人数については、国の予算積算人数を参考に、各自治体（小学校区数の多寡等）の実情に応じて、真に必要な人数を配置する。
 - ・ コーディネーターの謝金単価については、国の予算積算単価を参考に、各自治体の会計基準に基づく単価を設定しても差し支えない。
ただし、1人1時間あたりの謝金単価は、1,440円までを上限として積算するものとする。

放課後子ども教室備品整備事業

1 趣 旨

新たに放課後子ども教室を開設する場合において、余裕教室等の施設を放課後子ども教室用のスペースにするため、開設年度に限り必要な備品等を設置し、放課後子ども教室運営の円滑かつ速やかな実施が図られることを目的とする。

2 実施主体

本事業の実施主体は、市町村（特別区を含む。以下同じ。）とする。

3 事業の対象

に基づく放課後子ども教室推進事業を新たに実施するための施設に必要な、既存施設の改修等、施設整備を伴わない備品等の整備（備品の購入等）のみを行う事業。

4 対象事業の制限

- （１）他の国庫補助を受ける場合は、本事業の対象とはならないこと。
- （２）改修や修繕等の工事が伴う施設整備は、本事業の対象とはならないこと。
- （３）本事業は、１放課後子ども教室につき１回限りとすること。

5 費 用

- （１）国は次の事業に対して、別に定めるところにより補助するものとする。

市町村が実施する事業に対して都道府県が補助する事業

都道府県、指定都市及び中核市が実施する事業

- （２）本事業の事業費を積算する際は、以下に基づき事業費を計上すること。

具体的な開設のための備品費については、以下のようなものが想定されるが、原則、各自治体の判断に委ねるものとする。

１放課後子ども教室あたりの単価については、国の予算積算単価を参考に、各地域の放課後子ども教室の実情（開催日数や当該学校規模等）に応じて、計上して差し支えない。

【開設備品の例】

カーペット、ロッカー、保管庫（事務資料用）、ノートパソコン、プリンター、テレビ、エアコン（取付費含む）、折りたたみ座卓、事務用机・椅子、冷蔵庫、スポーツ用具（ボールかご等） など

放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業

1 趣 旨

各都道府県・指定都市・中核市において、域内における放課後対策の総合的な在り方の検討を行うための推進委員会の設置を行うとともに、域内各市町村が実施する放課後対策事業に関わるコーディネーターや安全管理員等の事業関係者の資質向上や情報交換等を図るための研修を行い、放課後子どもプランの推進を図ることを目的とする。

2 実施主体

本事業の実施主体は、都道府県、指定都市及び中核市とする。

ただし、事業の一部について事業を実施するのに適した法人等（財団法人、社団法人、特定非営利活動法人等）に委託することができるものとする。

3 運 営

本事業の運営は、次により実施するものとする。

（１）推進委員会の設置

都道府県、指定都市及び中核市は、域内の総合的な放課後対策の在り方を検討する推進委員会を設置する。

具体的な検討内容は、放課後対策事業（放課後児童クラブを含む。）の実施方針、安全管理方策、広報活動方策、指導者研修の企画、事業実施後の検証・評価等が考えられる。

推進委員の選定にあたっては、行政関係者（教育委員会及び福祉部局）、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者等を、各地域の実情に応じて適宜選定する。

委員会の開催については、年間をとおして時期の偏りがないよう定期的に開催することに努める。

（２）コーディネーター研修の実施

都道府県、指定都市及び中核市は、域内の市町村が各小学校区毎に配置するコーディネーターに対し、域内の放課後対策の現状や放課後子どもプラン関係施策の概要、ボランティア等地域の人材の確保のための方策などの資質向上を図るための講義等の開催や、他のコーディネーターをはじめとした放課後子どもプラン事業関係者との情報交換・情報共有を図る研修を実施。

（３）安全管理員等研修の実施

都道府県、指定都市及び中核市は、域内の市町村が実施する放課後対策事業に関わる安全管理員や学習アドバイザー等に対し、安全管理、子どもたちとの接し方、活動プログラムの企画・実施方策などの資質向上を図るための講義等の開催や、他の放課後子どもプラン事業関係者との情報交換・情報共有を図る研修を実施。

4 留意事項

放課後児童健全育成事業の担当者に対する研修を併せて実施する場合には、放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブそれぞれの担当者又は指導員等が両研修を相互に受講できるよう連携を図るとともに、両研修内容の整合性や日程等にも配慮すること。

5 費用

(1) 都道府県、指定都市及び中核市が実施する事業に対して補助するものとする。

(2) 本事業の事業費を積算する際は、以下の基準に基づき事業費を計上すること。

推進委員会経費

- ・ 推進委員会の経費については、委員等謝金・旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、消耗品費等が考えられるが、各自治体の判断により、推進委員会の開催に必要な経費を適宜積算する。

(ただし、飲食物費(当該自治体が認める会議費以外のもの)及び交際費に該当する経費は除く。)

コーディネーター研修経費・安全管理員等研修経費

- ・ コーディネーター研修経費・安全管理員等研修経費については、講義謝金・旅費、印刷製本費、会場借料、消耗品費等が考えられるが、各自治体の判断により、研修の実施に必要な経費を適宜積算する。

(ただし、飲食物費(当該自治体が認める会議費以外のもの)及び交際費に該当する経費は除く。)

(案)

様式1

平成 年 月 日

文部科学省生涯学習政策局長 殿

都道府県・指定都市・中核市の
教育委員会教育長

県(市)教育委員会教育長
(印)

平成19年度放課後子ども教室推進事業等に係る経費について(仮申請)

(単位:千円)

区 分	補助対象経費総額 (A)	要国庫補助額 (A × 1/3)
放課後子ども教室推進事業		
放課後子ども教室備品整備事業		
放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業		
合 計		

【記入担当者連絡先】

担当者氏名

〒

住所

電話

FAX

e-mail

様式2

【都道府県のみ記入】
市町村別内訳

(単位:千円)

市町村名	放課後子ども教室推進事業			放課後子ども教室備品整備事業		
	補助対象経費総額 (ア)	要国庫補助額 (ア×1/3)	箇所数 (ヶ所)	補助対象経費総額 (イ)	要国庫補助額 (イ×1/3)	箇所数 (ヶ所)
1 市						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
合計						

【指定都市・中核市のみ記入】
箇所数内訳

区 分	箇所数
放課後子ども教室推進事業	ヶ所
放課後子ども教室備品整備事業	ヶ所

様式3

年度途中における追加申請(予定)について

【追加申請予定の有無】

1. 有	
2. 無	

”有”を選択した場合、以下を記入

【共通】

(単位:千円)

区分	補助対象経費総額 (B)	要国庫補助額 (B × 1/3)
放課後子ども教室推進事業		
放課後子ども教室備品整備事業		
放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業		

【都道府県のみ記入】

市町村別追加内訳 (都道府県のみ記入)

(単位:千円)

当初申請の有無	市町村名		放課後子ども教室推進事業			放課後子ども教室備品整備事業		
			補助対象経費総額 (ア)	要国庫補助額 (ア × 1/3)	箇所数 (ヶ所)	補助対象経費総額 (イ)	要国庫補助額 (イ × 1/3)	箇所数 (ヶ所)
有	1	市						
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	合計							

【指定都市・中核市のみ記入】

追加箇所数内訳

区分	箇所数
放課後子ども教室推進事業	ヶ所
放課後子ども教室備品整備事業	ヶ所

(留意事項)

- ・本様式には、補正予算等によって年度途中に申請を考えている場合、その追加予定金額・箇所数について記載すること。
- ・本様式に計上される数値等は、正式な追加申請時の内容を制限するものではない。

(案)

放課後子ども教室実施における対象経費について

本表は、平成19年度新規事業である放課後子ども教室推進事業の”教室運営費”の対象経費を示したものである(コーディネーターや運営委員会を含まない)。ただし、以下はあくまでも例示であり、それ以外の経費についても自治体の会計基準等と照らし合わせて、適切なものと判断されれば補助対象となる。

以下の対象経費については、”便宜的”に地域子ども教室教室推進事業(委託事業)の費目をベースに示している。

経費費目(例)	対象経費(例)
諸謝金	安全管理員・学習アドバイザー・講師等への謝金、原稿執筆謝金など個人に対して支払う謝金
旅費	安全管理員・学習アドバイザー・講師等が事業開催場所までに要する交通費(特別な催し物開催時等)など、実費に相当する額を原則とする
消耗品費	文房具代、事務用品、用紙代、フィルム代、救急用品など
印刷製本費	広報資料(リーフレット等)、放課後子ども教室活動資料(募集チラシ、参加カード等)、報告書等の印刷費、コピー代、写真現像代など
通信運搬費	広報資料・活動資料等の送料(切手等郵送料・宅配料)、活動に必要な用具・物品・機材等の運送料
借料及び損料	活動に係る会場や、物品(用具、機材、楽器、パソコン、衣装等)の借り上げ料、衣装等のクリーニング代など
教材費	活動に必要な参考図書、テキスト代、ビデオ・CD代、スポーツ用具(サッカーボール・なわとび等)、学習参考書、その他(百人一首、将棋、オセロ、トランプ等)
会議費	会議等における茶菓子代、弁当代など
賃金	短期アルバイト賃金(資料整理、会計補助業務など)
保険料	安全管理員等の保険(スポーツ安全保険など) 参加者に対する保険料は対象外
雑役務費	送金手数料など

学習活動（学びの場）について（案）

- 放課後子ども教室推進事業 -

【 1 . 学習活動（学びの場）の位置づけ】

放課後や週末等における地域の子どもたちの安全・安心な
活動拠点（居場所）の確保

地域の多様な大人の参画を得て実施する様々な体験・交流活動等に加えて、
家庭の経済力等に関わらず、学ぶ意欲がある子どもたちに学習機会を
提供する取組の充実を図る

子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の涵養や
地域コミュニティの充実

【 2 . 想定される活動内容】

学校の宿題、予習や復習、補習

「学習指導要領」上の各教科に関連する活動は可能

その他（社会教育の観点からも）

地域の郷土史、読書、英会話、科学実験、IT関係 等

【 3 . 学習アドバイザーについて】

想定される人材

- ・地域の退職教員や教員を目指している大学生
- ・その他、地域で活躍している様々な分野の人材（ ）

生涯学習インストラクター、地元企業や民間教育事業者の関係者なども該当。
また、年数回程度であれば、特別な催し物実施のために講師を招聘することも
可能である。

【 4 . 放課後児童クラブとの連携】

学習活動（学びの場）においても、放課後児童クラブとの連携促進を図り、
できるだけ多くの域内の子どもたちが参加できるよう、配慮していただきたい。

《参考》

公立学校施設の財産処分手続について

財産処分手続とは

国庫補助により整備された校舎等を転用する際に文部科学大臣の承認を経る手続。
地方公共団体は、国庫補助金に相当する額を納付することが原則。
(根拠：「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第22条)

財産処分手続の簡素化・弾力化

以下の要件を満たす転用であれば、補助金相当額の納付は不要

公共用・公用施設に転用

補助事業完了後10年経過()

無償による転用

地域再生法に基づく地域再生の取組においては、経過年数を問わず納付金免除可能

さらに次の施設へ転用する場合は、「報告」のみで手続が可能

放課後児童クラブ、児童館、社会教育施設、社会体育施設、文化施設、
保育所、老人デイサービスセンター等の公共用施設及び公用施設

次の場合は、財産処分手続は不要です

学校施設としての用途を変更しない範囲での一時的な使用

【具体例】

- ・放課後や休日に「放課後子ども教室」の実施場所として教室を使用する場合
- ・学校開放の一環で地域のスポーツ団体に体育館を使用させる場合 等々

国庫補助を受けずに整備した施設の転用

建物の処分制限期間(例：鉄筋コンクリート造60年、木造24年)を経過した施設の転用

【連絡先】

文部科学省文教施設企画部施設助成課振興地域係

03-6734-2464(直)

03-5253-4111(内線2001)

地域子ども教室と 放課後児童クラブの連携

～ 地方自治体における取組例 ～

パターン : 別々の場所(建物)で連携して実施

島根県松江市の例

	地域子ども教室	放課後児童クラブ
教室・クラブ名	古志原子ども広場	古志原地区児童クラブ
実施場所	古志原公民館	古志原小学校内専用施設
連携内容	地域子ども教室は週2回開設され、地域子ども教室の活動に児童クラブの児童が自由に遊びに来て、一緒に活動する。	
	地域子ども教室が開設される古志原公民館と児童クラブは、徒歩1分もかからない距離にある。	
	児童クラブからの参加が多くなる場合は、クラブの指導員も一緒に参加。	
	年に数回、地域子ども教室か児童クラブのいずれかが主管となり、両方の子どもが参加する行事を行っている。	
連携の成果	多様な経験を、たくさん子どもたちで共有できる。	
	小学校1年生など、入学後仲良しになったばかりの子ども同士(児童クラブに登録している児童とそうでない児童)が放課後も一緒に遊べる場を提供できている。	
	夏休みなど一日中児童クラブにいる子どもたちの遊びの選択の幅が広がっている。	
連携の課題等	児童クラブの児童が施設を行き来した際の、児童の所在の把握等に配慮や連携の工夫が必要。	

高知県土佐清水市の例

	地域子ども教室	放課後児童クラブ
教室・クラブ名	わくわく文化教室	にこにこクラブ
実施場所	土佐清水市立市民図書館	清水小学校(余裕教室)
連携内容	地域子ども教室(週3回開設)において、月一回、人形劇発表会や絵本の読み聞かせなどの催し物が行われる際、児童クラブの子どもたちも参加。(クラブ指導員引率)	
	地域子ども教室が開設される土佐清水市立図書館と児童クラブは、徒歩3分の距離である。	
	合同活動の際は、両事業の指導員が協力して両方の子どもを見守るようにしている。	
	催し物が開催される際は、教室関係者等がクラブ指導員と直接連絡を取り合って、参加の呼びかけや調整を行うようにしている。	
連携の成果	たくさん子どもたちが集まることで、活気が生まれ、また異学年同士の子どもとの交流が可能になった。	
連携の課題等	現在のところ、特になし。	

パターン : 同じ建物内で、部屋を分けて連携して実施

岩手県^{くずまき}葛巻町の例

	地域子ども教室	放課後児童クラブ
教室・クラブ名	わいわい遊びのがっこう	葛巻学童クラブ
実施場所	葛巻小学校 (地域子ども教室)視聴覚室、体育館 (放課後児童クラブ)余裕教室	
連携内容	地域子ども教室は週3回開設され、参加を希望する児童クラブの子どもたちも一緒に活動する。	
	地域子ども教室に参加した児童クラブの子どもたちは、地域子ども教室が終了する午後5時(冬期間は午後4時)には通常の専用スペースに戻り、おやつを食べたり保護者の迎えを待ったりする。	
連携の成果	地域子ども教室は、週1回、体育館で活動することになっており、その際には、児童クラブの指導員も1人配置し、両事業の指導員で子どもたちの活動をサポート(地域子ども教室の指導員は2名)。	
	<p><参考:地域子ども教室の活動内容></p> <p>活動の基本スタイルは自分の好きなことをやる。 (トランプ・オセロなどのゲーム遊び、工作、折り紙、お絵かき、映画会、読書、宿題、じゅうたんの上でごろごろなど)</p>	
連携の課題等	児童クラブの子どもたちからは、「地域子ども教室にはたくさんの子どもが集まるので、大勢で遊ぶことができる。楽しくて、あっという間に時間が過ぎるので、地域子ども教室ももっと時間を長くしてほしい」という声が聞かれている。	
	もともと児童クラブでは宿題をする時間が設定されており、連携当初は地域子ども教室に参加することで、そのリズムが崩れるといった指摘もあった。しかし、地域子ども教室に宿題をするためのスペースを設けたところ、そこで、宿題を済ませてから遊ぶようになる等の変化が見られた。開設から約2年が経過して、子どもたちそれぞれの放課後の過ごし方が、それぞれの生活のリズムとして定着してきている。	
連携の課題等	将来的には一体的という形を目指すものの、当面は双方の機能を生かして連携を図っていく。	
	葛巻町には、葛巻小学校以外に、保育園に設置している児童クラブが3箇所ある。保育士が指導員となっているが、将来的に両事業を小学校で一体的に運用するとなると、保育士が対応できなくなり、有資格の指導員の確保が課題となる。現在、地域子ども教室で活躍しているボランティアは主婦が多いが、「午後5時以降の活動は難しい」という声も聞かれている。	

福島県南会津町の例

	地域子ども教室	放課後児童クラブ
教室・クラブ名	荒海子ども教室	荒海放課後児童クラブ
実施場所	荒海小学校 (地域子ども教室) 家庭科室 (放課後児童クラブ) 余裕教室 (鍵付)	
連携内容	児童クラブの指導員が地域子ども教室への送り迎えをする。	
	地域子ども教室は週3回開設され、児童クラブの参加児童は、地域子ども教室の活動に参加した後に児童クラブへ移動する。	
	児童クラブの指導者は、地域子ども教室で活動する児童クラブの子どもたちを見守る。	
	スクールバスの送り迎えの時間の差で地域子ども教室と児童クラブの子どもたちのすみ分けがしっかりしている。	
連携の成果	児童クラブの子どもたちも、地域子ども教室を毎回楽しみにしている。	
	児童クラブの子どもたちにとっても地域の大人と触れ合うことで、挨拶もしっかりとできるようになってきた。	
連携の課題等	地域子ども教室は家庭科室を利用しているため、専用の活動場所が欲しい。	
	地域子ども教室と児童クラブの開催場所が1階と3階で離れていること。	

兵庫県川西市の例

	地域子ども教室	放課後児童クラブ
教室・クラブ名	くしろレインボークラブ	オレンジクラブ
実施場所	久代小学校 (地域子ども教室) 学校施設等 (放課後児童クラブ) 余裕教室	
連携内容	地域子ども教室が開設している7つの「クラブ」(園芸、書道、理科実験、自然観察等、年間150日(週3回程度)実施)に、児童クラブの希望者が自由に参加している。	
連携の成果	児童クラブにとって、今までよりも異年齢交流や地域の大人とのふれあいの場を持つことができ、活動内容の充実を図ることができた。	
連携の課題等	河川敷での自然観察など、学校から離れた場所で地域子ども教室を実施する場合、指導員による児童クラブの子どもへの行動確認や確実なクラブへの帰着など、安全管理の方法に研究の余地がある。	
	児童クラブとの連携を重視すると、活動内容が低学年児童を対象とするものに限定されるため、高学年児童も視野に入れた活動内容の工夫が必要である。	

参 考

民間教育団体による 地方公共団体への 広報資料について

放課後子ども教室推進事業

ご担当者

はじめに

平成19年度より新たに実施する「放課後子ども教室推進事業」は、これまでの「民間団体向け委託費」から「地方公共団体向け補助金」へ切り替わり、従来のように、文部科学省から直接、民間教育団体への事業委託が基本的にできなくなります。

ただし、これまでの「地域子ども教室推進事業」(H16～H18)において、民間教育団体にも積極的に取り組んでいただき、全国各地でご活躍いただいております。そのため、平成19年度以降、実施主体である市町村から民間教育団体に事業委託をすることで、民間教育団体のノウハウやアイデアをできるだけ活用して、「放課後子ども教室推進事業」の活動の充実を図っていただけるよう、各種会議等を通じて周知を行っているところです。

今回、その周知の一環としまして、これまで実績のある民間教育団体の取組状況等を広報させていただきます。

ご担当者の皆様方におかれましては、今後、事業計画を立てていく際のご参考にしていただければ幸いです。

文部科学省 生涯学習政策局 子どもの居場所づくり推進室

< 民間教育団体による地方公共団体への 広報資料について >

目次

1. 全国子ども会連合会「子どもが主人公の居場所づくり」運営協議会・・・P3
2. ボーイスカウト日本連盟子どもの居場所づくり運営協議会・・・P4
3. ガールスカウト子どもの居場所協議会・・・P6
4. CONE 地域子ども教室推進事業運営協議会・・・P11
5. やがい財団 地域子ども教室推進事業運営委員会・・・P15
6. 財団法人 日本レクリエーション協会・・・P16
7. 財団法人 日本体育協会・・・P23
8. 全国博物館における地域子ども教室推進事業運営協議会・・・P24
9. 全国科学系博物館等における地域子ども教室推進事業運営協議会・・・P35
10. 子どもメディアフォーラム運営協議会・・・P36
11. 地域子ども教室全国民間団体運営連絡協議会・・・P39
12. 地域子ども教室融合研運営協議会・・・P44
13. 財団法人 五井平和財団・・・P60
14. おんがくっ子塾運営協議会・・・P64
15. 財団法人 ゲートボール連合ふれあい教室運営協議会・・・P68

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	全国子ども会連合会 「子どもが主人公の居場所づくり」運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	社団法人 全国子ども会連合会
(担当者)	内山 則子
(連絡先) TEL FAX E-mail	TEL : 03 - 5319 - 1741 FAX : 03 - 5319 - 1744 E-MAIL : uchiyama@kodomo-kai.or.jp
(ホームページ)	http://kodomo-kai.or.jp
広報のポイント	「子どもの居場所づくり活動」が学習・発達に及ぼす影響 発達心理学的評価研究 (A4版 12ページ)

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	ボーイスカウト日本連盟 子どもの居場所づくり運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	財団法人 ボーイスカウト日本連盟
(担当者)	事務局次長 小林 孝之助
(連絡先)	
TEL	0 4 2 2 - 3 1 - 5 1 6 8
FAX	0 4 2 2 - 3 1 - 5 1 6 2
E-mail	ibasho@scout.or.jp
(ホームページ)	http://www.scout.or.jp
広報のポイント	<p>全国に組織され長年培ってきたボーイスカウト活動の経験を活かし、一般の方々を対象に安全で魅力ある野外活動を展開しています。</p> <p>地域に根ざした活動をさらに充実させる為、地元の老人会や学校PTAの協力、諸団体の指導者を巻きこんだ事業内容となるべく取り組んでいます。</p>



ボーイスカウト日本連盟
子どもの居場所づくり運営協議会



あそび

どこであそぶ？ だれとあそぶ？ なにしてあそぶ？ いろんなあそびがしたいなあ。 そんな時は...



いろいろなことが体験できる「キッズ・コミュニティ」
 友だちも、ちがう学年の子どもと遊べる「キッズ・コミュニティ」
 近くのおとなの人も手伝ってくれる「キッズ・コミュニティ」
 学校の使っていない教室や校庭、体育館や児童館が
 みんなの「キッズ・コミュニティ」
 さあ、「キッズ・コミュニティ」でいっしょにあそぼ！

私たち「ボーイスカウト日本連盟」は、未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会で育むための活動「子どもの居場所づくり」を推進している文部科学省の委託を受け、地域の大人の教育力を結集して、子どもたちの放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの様々な体験活動、地域住民との交流活動等を支援しています。

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	ガールスカウト子どもの居場所協議会
問い合わせ先	
(団体名)	(社)ガールスカウト日本連盟
(担当者)	教育部 片岡(教育部部長)、 島田・原口(事務担当)
(連絡先) TEL FAX E-mail	TEL 03-3460-0701 FAX 03-3460-8383 otenbaclub@girlscout.or.jp / kouhou027037@girlscout.or.jp
(ホームページ)	http://www.otenbaclub.com/ / http://www.girlscout.or.jp/
広報のポイント	ガールスカウト子どもの居場所推進事業は、ガールスカウトが日頃行っている活動プログラムの一部を一般へ「開放する」「枠を広げる」という観点で実施しています。そこでは、ガールスカウトの指導者が責任を持って子どもたちの安全面や活動プログラムを実施しています。活動内容は、地域の特性を生かし、野外活動やスポーツ、文化活動、国際的な活動など、様々な体験活動を地域と密接な関わりを大切にしながら実施しています。一部地域を除きますが、全国各地で取り組んでいます。

	支 部	電話番号 (社)	ガールスカウト日本連盟 事務取扱時間	日本連盟 支部事務局	お問合せ先 ホームページアドレス
1	北海道	011-221-4811	月～金	10:00～17:00	
2	青森県	017-729-1965	月・木	13:00～16:00	
3	岩手県	019-641-1153	月・木	10:00～16:00	
4	宮城県	022-219-1441	月・水・金	10:00～15:00	
5	秋田県	018-880-2304	金	11:00～14:00	
6	山形県	023-625-7988	火・金	10:00～12:00	
7	福島県	024-544-6637	月・火・水・金	10:00～16:00	
8	茨城県	029-226-5438	月～金	10:00～17:00	http://homepage3.nifty.com/ibaraki-girlscout/
9	栃木県	028-624-2755	月・水・金	9:00～16:00	http://www15.ocn.ne.jp/~tochi-gs/
10	群馬県	027-234-7230	月～金	9:00～17:00	http://www.girlscout-gunma.org/
11	埼玉県	048-824-6879	第1・3月～金 第2・4火～金	10:00～16:00	http://www.k4.dion.ne.jp/~sgs
12	千葉県	043-284-0707	火～金	10:00～16:00	
13	東京都	03-3354-9410	月～金	9:00～17:00	http://www2u.biglobe.ne.jp/~gs-tokyo
14	神奈川県	045-365-3423	火～金 9:30～16:30	土9:30～14:30	http://www2.ocn.ne.jp/~gs_kana
15	新潟県	025-229-0548	月～金	10:00～16:00	
16	富山県	076-444-3707	月～金	9:00～17:30	http://www.hokuriku.ne.jp/gstoyama/
17	石川県	076-223-6567	火・金	10:00～12:00	
18	福井県	0776-41-4266	月～金	12:00～16:00	http://www.h7.dion.ne.jp/~gs-fukui
19	山梨県	055-228-6637	火・金	13:30～16:30	http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/
20	長野県	0263-27-5675	月～金	9:30～16:30	http://www.mcci.or.jp/www/gs-na37/
21	岐阜県	058-264-1111・内線887	月～金	10:00～14:30	
22	静岡県	054-252-4840	月～金	9:15～17:00	http://www.fuji.ne.jp/~gsshizu
23	愛知県	052-201-5770	月～金	10:00～17:00	http://www2.ocn.ne.jp/~gs-aichi/
24	三重県	059-223-0236	火・金	10:00～13:00	
25	滋賀県	077-523-1950 077-522-3681	月・水・金	9:30～16:30	
26	京都府	075-692-3460 075-662-1106	月・火・木・金 10:00～17:00	土・13:00～17:00	http://www7.ocn.ne.jp/~gs-kyoto/
27	大阪府	06-6941-4993	月～金	9:30～17:30	http://popandpop.gr.jp/gs-osaka/
28	兵庫県	078-360-8575	月～金	9:30～17:00	
29	奈良県	0742-26-4630	月・水・金	10:00～16:30	http://www.h3.dion.ne.jp/~gs-nara/
30	和歌山県	073-431-6511	月～金	10:00～13:00	
31	鳥取県	0857-21-6090	月・水・木	12:00～17:00	
32	島根県	0853-53-3100	月～金	9:00～16:00	
33	岡山県	086-234-2771	火10:00～13:00	金12:00～15:00	
34	広島県	082-263-8776	火・金	10:00～15:00	
35	山口県	0834-31-7368			
36	徳島県	088-663-1327			
37	香川県	087-886-5019	月～金	15:00～18:00	
38	愛媛県	089-921-5778	木	11:00～15:00	
39	高知県	0887-53-2510	月	13:00～17:00	
40	福岡県	092-473-6256	月・水・木・金	10:00～17:00	
41	佐賀県	0942-82-5816			
42	長崎県	095-827-1309	火・水 10:00～13:00	金13:00～16:00	
43	熊本県	096-272-2831	月・火・水・木	7:00～17:00	
44	大分県	097-556-6808	火～土	10:00～16:00	
45	宮崎県	0985-23-5399	月・水・金	10:00～16:00	http://sun.pref.miyazaki.jp/girlscout/
46	鹿児島県	099-257-3567	火・木	10:00～15:00	
47	沖縄県	098-832-8780	火～土	10:00～17:00	



(社)ガールスカウト日本連盟

ガールスカウトは、少女と若い女性のための世界最大の社会教育運動です。現在、全世界144の国と地域で、約1000万人以上の少女たちの会員が活動しています。

少女たち、一人ひとりが、のびのびとした環境の中で、自分を見出し、地域社会で責任を持ち活動をしていきます。この活動体験の積み重ねから、自分に自身を持ち、自身の可能性を広げて成長していきます。

ガールスカウトの構成



テンダーフット

就学前1年

「豊かな感性を持つ」を育成目標に、自然とのふれあいの中で、五感、そして感性をはぐくみます。

ブラウニー

小学1～3年

「自分を表現する」を育成目標に、新しいことへのチャレンジを楽しみ、自分のできることを広げていきます。

ジュニア

小学4～6年

「仲間と協力する」を育成目標に、仲間と協力する大切さ、分かち合う喜び、そしてその大切さを学び、思いやりのある心を育てます。

シニア

中学1～3年

「体験を通して自分を見いだす」を育成目標に、自分で目標を立てて、それに向かって努力することで、その過程の大切さを学びます。

レンジャー

高校生相当年齢

「責任ある立場で自分を生かす」を育成目標に、自分の将来を見つめ仲間と共に企画・運営、評価を行います。

成人会員

SCAPP、リーダー
運営委員

18歳以上の方は、成人会員として活動できます。少女たちとともに活動し、またその活動を支えています。

活動の3つのポイント

活動の3つのポイントにふれながら、自分に合った活動を進めていく中で、自然に資質、能力を高めていきます。

○自己開発

自分の可能性を発見し、主体的に生きることを身につける。

○人との交わり

さまざまな人と行動を共にし互いを尊重する心を育てる。

○自然とともに

自然との調和を学び豊かな情操を養う。



ガールスカウト子どもの居場所

ガールスカウト子どもの居場所「おてんばくらぶ」は、子どもたちと地域の人を楽しみながら体験活動を行い、成長する場です。ここでは、ガールスカウトのリーダーの資格を持った指導者が子どもたちの安全面を責任持ってプログラムを実施しています。学校以外の友達や外国の人と交流をしたりすることで、無理なく個々の力をはぐくむとともに、社会性を身につけていきます。保護者の方も子どもたちの活動にふれることで、交流の輪が広がります。年間を通じて、野外活動や文化活動、スポーツなど多彩な体験の機会を作りだしています。

平成 18 年度	42 実行委員会	子ども教室数	251 ヶ所
平成 17 年度	44 実行委員会	子ども教室数	272 ヶ所
平成 16 年度	38 実行委員会	子ども教室数	298 ヶ所

ガールスカウト子どもの居場所事業(平成18年度実施 一部紹介します)

名 称	実施場所	内 容
七北田子ども教室	宮城県仙台市内	行政と連携をし、花壇づくり。花な水中生物の観察、草木染めなど
北大阪子ども教室	大阪府箕面市、豊中市他	ゲーム、里山めぐり、野外料理など
上戸祭りひろば子ども教室	栃木県宇都宮市内	ロープ遊び、工作、クラフト作り、昔の遊び、野外活動など
くらしき子ども教室	岡山県倉敷市内	公園でのコーナーめぐり
ガールスカウトエコ体験教室	長崎県佐世保市内	お茶会、エコラッピング、火おこし体験、平和のキャンドル作りなど
スイトピー	石川県金沢市内	クラフトやゲームなど仲間とともに取り組む活動

各都道府県の実施のお問合せは支部事務局までご連絡ください。



ガールスカウト子どもの居場所 子ども教室活動事例

取り組み事例①…福岡県支部

教室名

「わいわい広場」

◆福岡県第7団 前原清美



にぎやかにおみこし作り

事業を行うきっかけ・ねらい

平成16年より2ヶ月に1回、集会の延長として取り組んでいます。今回は毎年手作りのおみこしで参加しているお祭りに、より多くの子どもたちと参加する楽しさを共有できたらと企画をしました。

伝統的な地域の行事に関心を持ち、受け継いでいってほしい。そして創作する楽しさや完成の喜びを味わう中から「自分にもできるんだ」ということに気づくこと、協力し合うことでいろいろな作品を作り上げることができるということにプログラムのねらいをおきました。

地域への貢献

「見るお祭り」から「参加するお祭り」へと変わっていったのが良かったという声を聞き、参加者の保護者に対しては、完成したものを与えるだけでなく、**創意工夫**をすることにより、子どもたちは子どもたちなりに楽しむことができるといふことを伝えることができました。

事業を行う上での工夫

・継続参加者の名札を作り、**参加シールを貼る**ことにより、「次回も来たい」

という意欲を持たせ、受付をする時から楽しんでもらうようにしたこと。
・身近な材料を使って、年齢に応じて協力し合って作るようにしたこと。

広報活動での工夫

・**次回の内容の予告**を行う。
・幼稚園や公民館へのチラシ配り、市の広報誌や新聞の地域版への掲載。
・後援依頼を市の教育委員会をお願いしたことで、保護者からの安心を得ることができた。

取り組みの成果

この事業を通常のプログラムとして年間プログラムの中に取り入れてきましたが、「もっと参加してみたい、挑戦してみたい」と**10人近くの会員が増えました!**定期的に行ったことで地域へのアピールに大きく貢献したようです。

取り組み事例②…長野県支部

教室名

「キッズマナー教室」

◆長野県第5団 笠原世為子



「和食のマナー」教室の様子

事業を行うきっかけ・ねらい

ガールスカウトの保護者、特に父親から初歩的なマナーを身につけさせたいという要望が多数あり、マナーを学ぶことから社会人として住みよい人間関係を作り、親切でやさしい対応のできる人になれるよう、プログラムの企画をしました。

事業の内容

さまざまなマナーの基礎を学ぶため、教室を毎月第4土曜日に開催することに決めました。対象をブラウニー・ジュニア年代とし、毎回専門の講師に来ていただきました。参加者の募集にあたっては**教育委員会や公民館などの行政の協力**を得て、マスコミやロータリークラブなどの団体に積極的に働きかけ、準備段階からテレビの取材を受けて進めていきました。そのため反響も大きく、特に学校単位の応募が多くあり、すぐに定員オーバーとなってしまいました。これは今まで学校でも家庭でもなかなかマナーに対するきちんとした対処ができていなかったためではないかと思われます。

◆人気の高かったマナー教室

・招待されたときのマナー
(抹茶のいただき方)

・ゆかたの着付け
・ことばのマナー
(言葉づかいのロールプレイ)

事業を行う上で工夫したこと

事前の準備や打ち合わせなど、1回の教室を開くために何回も集まって内容を検討し、充実を図ったこと。

広報活動での工夫

教育委員会や公民館など、行政の協力を得たり、地元のマスコミやロータリークラブなどの団体に働きかけ、**準備段階からの広報**に努めたこと。

取り組みの成果

参加者にも地域からも、また大変喜ばれており、保護者に対しては「**地域で子どもを見守りましょう**」という姿勢を伝えられたように思います。

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	CONE 地域子ども教室推進事業運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会 (通称CONE)
(担当者名)	内村美紀
(連絡先)	
TEL	03-5363-2501
FAX	03-5363-2502
E-mail	uchimura@www.cone.ne.jp
(ホームページ)	http://www.cone.ne.jp
広報のポイント	<p>1. 自然体験活動推進協議会の特色</p> <p>CONE は、自然体験活動の推進を図ることを目的に 1999 年に設立されました。全国約 270 団体の会員および自然体験活動指導者約 32,000 人で組織する団体です。自然とふれあい、自然に学び、また人と交流することで、持続可能な社会づくりにつながる良質な自然体験活動を推進する活動をしています。</p> <p>2. CONE 地域子ども教室の展開と特色</p> <p>地域こども教室は、CONE の会員が地域と連携しながら実施しています。子ども達が身近な自然で、同世代だけでなく地域の大人達と交流しながら、体験的な活動を行っています。安全で楽しい活動を行うために、指導は技能と知識を持った自然体験活動指導者が担当しています。</p> <p>3. 自然体験活動推進協議会の活動内容</p> <p>自然体験活動の推進のために主に 3 つの活動を主にしています。</p> <p>(1) 自然体験活動の指導者を養成する指導者の養成</p> <p>(2) 自然体験活動指導者の登録</p> <p>(3) 自然体験活動に関わる調査研究</p> <p>4. 会員の活動内容</p> <p>安全で楽しい様々な自然体験活動を全国で展開しています。</p> <p>(地域子ども教室における活動事例)</p> <p>海遊び、漁業体験、スノーケリング、カヌー、川遊び、野外料理、野鳥観察、自然観察、間伐、炭焼き、山登り、ハイキング、農作業、米づくり、昔遊び、ネイチャーゲーム、ツリークライミング、木工、工作、伝統工芸体験、など</p> <p>5. 会員の活動エリア</p> <p>海、川、河、山、森林、里山、畑、公民館、公園、空き地など</p>

子どもの居場所をつくる Leader's Handbook リーダーズハンドブック



北海道編



「子ども居場所づくり」キャンペーン
文部科学省



CONE地域子ども教室推進事業運営協議会
NPO法人自然体験活動推進協議会

自然の中で新しい発見と感動の体験



CONE

活動
紹介

文部科学省委託事業

自然体験 地域子ども教室



じっとしていると、波が自然に運んでくれるんだ。

ブギーボードとカヤックで海に出た。はじめは少し怖かったけれど、すぐに波を捕まえられるようになった。じょうずに波に乗ると自然に運んでくれる。「波に乗る」不思議な感覚を一度体験してしまったら、もうヤミツキ！



バディと一緒に探検に出かける。いろんな生き物がいるよ。



マスクとスノーケルをつけて海をのぞいた。ぼくらの住んでいる近くで、こんなにいろいろな魚を見ることができるなんて、今まで知らなかった。鎌倉の海はすごい。今度は森に行こう。森と海は深い関係にあるんだって。

場所
神奈川県
鎌倉市

教室名
主 催

子どもひだまり広場

地球の楽校



この浜辺からカヌーで世界中の海を冒険したいんだ！

博多湾で初めてカヌーを体験しました。続けて参加していたら、だんだんうまくなって、ツーリングができるようになりとても楽しくなりました。なんだかこのまま世界中を冒険したくなりました。でもまだ無理かなあ？



科学者になって海の不思議を解明してみたい。



カヌーの合間に生き物の調査をしました。クラゲを見つけ捕まえようとしたらリーダーに止められました。なぜクラゲは刺すの？波が立つのは風のせい？浜辺のゴミはどこから流れてくるの？海には不思議がいっぱいあります。

場所
福岡県
北九州市

教室名
主 催

ウォータースクール

西日本環境ネットワーク

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	やがい財団・地域子ども教室推進事業運営委員会
問い合わせ先	
(団体名)	財団法人青少年野外教育財団
(担当者)	専務理事 小野寺 蔵、事務局長 石井 紀夫
(連絡先)	
TEL	011-618-7772
FAX	011-918-7773
E-mail	onodera@yagai.or.jp
(ホームページ)	http://www.yagai.or.jp
広報のポイント	<p>本財団は、本部事務局を札幌に置き、地方事務所として福岡県、連絡事務所として東京、大阪、沖縄に置いております。</p> <p>各地域で、自然体験活動を行っている民間教育団体がベースとなって、全国で「あそびの達人教室」と題して、地域子ども教室を行っています。</p> <p>コーディネーターは、各地域の自然体験活動における中心的な役割を担っているものばかりです。</p>

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	財団法人 日本レクリエーション協会 あそびの城づくり運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	財団法人 日本レクリエーション協会
(担当者)	事務局長 浅野祥三 組織部 担当 後藤剛彦 / 佐藤健 / 酒井敦子
(連絡先)	
TEL	03 - 3265 - 1244
FAX	03 - 3265 - 1253
E-mail	shiro@recreation.jp または soshiki@recreation.or.jp
(ホームページ)	http://www.recreation.jp/asobi/castles/index.html
広報のポイント	<p>日本レクリエーション協会は、「子どもの居場所づくり」を「あそびの城」と称し、全国167の地域で展開しております。</p> <p>「あそびの城」は、子どもの安全、安心な居場所づくりに寄与することはもちろん、コミュニケーションをとる力や主体性、協調性、あるいは体力向上など、単なる「あそび」ではなく、成長につながる時間を大切にした「あそび」として展開しております。</p> <p>活動内容は、運動が苦手な子でも楽しめるニュースポーツ等のスポーツ活動から、昔遊び、読書、読み聞かせ、集団ゲームなど多岐に渡ります。異学年交流、ボランティア等との世代間交流も、こうした活動だからこそ、自然と図られています。</p> <p>また、多くの地域の人材が集まるからこそ、豊富なメニューを提供することができます。「あそびの城」では、子どもたちに何かしてあげたいという思いを持った人が、自信を持って得意とするものを提供できるノウハウを研修会で提供しています。「あそびの城」は、「子どもの居場所」であり、地域の「大人の居場所」でもあるわけです。</p> <p>放課後子どもプランの実施にあたっては、「あそびの城」が大きな力を発揮いたしますので、今後ともよろしく願いたします。</p>

「あそびの城」がもたらすもの

安全で、安心して過ごせる居場所

- A. 安全の知識、安心の技術を持ち合わせた指導者の存在
- B. 地域住民の関わりから日常生活にも目が届く安心感
- C. 第二の人生、様々なバックグラウンドの方が集える仕組み

レクリエーションの良さを活かした多様な活動

- D. スポーツから芸術文化活動まで幅広い活動メニュー
- E. 「楽しい」を通じて子どもたちの成長につながる機会
- F. 地域イベント、地域行事とも連携した取り組み

大人にとっても居場所となる

- G. 住民一人一人の得意を活かせる展開ノウハウを構築
- H. 将来を担う若者、学生が地域に関われる仕組み
- I. 親子参加から、気がつけば親がのめり込む雰囲気

地域課題

地域・コミュニティ

- J. コミュニティ振興
- K. 地域活用
- L. 世代間交流

福祉

- M. 児童福祉
- N. 高齢者福祉
- O. 子育て支援

生涯学習

- P. 生涯スポーツ
- Q. 環境教育
- R. ボランティア体験

日本レクリエーション協会では「子どもの居場所づくり」を「あそびの城」と呼び活動を展開しています。

「地域課題」からの逆引きあみだもお試し下さい。レクリエーションを活用して様々なアプローチができます(一例としてご覧ください)。

① 安全で、安心して過ごせる場所

A. 「安全の知識」と「安心の技術」を持ちあわせた指導者の存在

指導者（レクリエーション・リーダー）の存在により、子どもたちばかりか、大人までもがそのとりにこに…!! その内容は、下記掲載誌でも取り上げられるほど。レクリエーション・インストラクターが「あそびの城」のスタッフとして運営に携わることで、自然と子ども同士がすぐに仲良くなる雰囲気ができあがる！



(撥水)・・・『ゲームやスポーツを通じて、こどものコミュニケーション能力や主体性を引き出すのがねらい』

B. 地域住民の関わりから、日常生活にも目が届く安心感

「あそびの城」には、レク指導者以外にも地域の方々にも多く関わっていただいている。子育てを終えた主婦や、時間があるから何かやってみたいという方、こんな得意を持っているから何か関わらせてくれと言う方までも。 地域に関わりを持ってもらうことで、普段町であったときも「あそびの城のおじちゃんだ！」

とか、「 さ～ん!!」と子どもたちから声をかけられる。最近、子どもが被害に遭う事件が多発しているが、「あそびの城」の効果は、「地域の監視の目」としても現われてきている。



読売新聞地域版

平成 18 年 3 月 20 日 (月) 掲載

(抜粋)・・・『私の顔を見てくれたら、あいさつもしてくれるし、見守っていても変に思わないはず。』

C. 第二の人生、様々なバックグラウンドの方が集える仕組み

「第二の人生、地域で何か役に立ちたい!」と思っている方は驚くほど地域には存在している。しかも、そういった方々は、「その道のプロ」でもある。元大工ならばクラフトを、元システムエンジニアならばパソコン教室を、元営業マンであればおしゃべり、元ガキ大将であれば昔あそびを、といった具合にそれぞれの特性を活かした関わりがもてる。そこに「レクリエーション」というちょっとしたスパイスを振りかけてあげることで、活動として成立するようになる。一方では、そういった方々の「生きがいきり」、「健康づくり」、「新たな自己実現の場」にもなっていることにも気づく…。



京都新聞

平成 17 年 6 月 23 日 (木) 掲載

(抜粋)・・・『お年寄りら 生きがいに』

② レクリエーションの良さを活かした多様な活動

D . スポーツから芸術文化活動まで、幅広い活動メニュー

楽しみながら行う生涯スポーツを通じて子どもの体力づくり、子どもたちに地域の伝統文化を知ってもらうことで地域への愛着心、多様なレクリエーション活動では様々な地域の課題へ「楽しみ」として取り組むことができる。

田野町合併記念誌

「ありがとう」へ掲載

(抜粋)・・・

『子どもたちに伝統的な遊びを』



E . 「楽しい」を通じて子どもたちの成長につながる機会

近年、子どもたちを取り巻く環境の悪化がマスコミにクローズアップされている。「命の大切さ」、「思いやり」、「規律、礼儀」など。レクリエーション・リーダーは、人と人の関係の原点である「レクリエーション支援論」を学ぶことなどから「あそびの城」ではそういった課題へ向けても取り組んでいる。「楽しい！」を通じて、子どもたちの心を育むためにもレクリエーションは一役買えるのです。

(抜粋)・・・

『あそびを通じて心育て

のいち・あそびの城』



広報 のいち

平成 17 年 3 月号掲載

F . 地域イベント、地域行事とも連携した取り組み

「あそびの城」では、様々な地域行事ともリンクすることが容易である。いつもの拠点で遊んでいるものを持ち出し、一歩外へ出向くことで夏祭りの一環としても実施。ハロウィンパーティでは、子どもたちがデイサービスセンターを訪ねお年寄りと触れあうなど。地域とのふれあいや世代間の交流など、大人も含め自分の住む地域を見直すきっかけに、子どもたちがからチャンスをもろうこともレクリエーションを通じて可能となる。

③ 大人にとっても居場所となる

G. 住民一人一人の得意を活かせる展開ノウハウを構築

「主婦だから何もできない」とか、「バードウォッチングが趣味なんです」、「パソコンは多少できるんですけど・・・」、「体力なら自身があります」など、人にはそれぞれの得意がある。「あそびの城」などのレクリエーション活動では、こういった個々の楽しみ、得意を自ら楽しむこと(=大人の居場所)を通じて、子どもたちともその楽しみを共有することができ、それが世代間交流などの活動に結びつけることができる。



中国新聞
平成 18 年 8 月 11 日 (金) 掲載

(抜粋)・・・『街であいさつ心近づく、遊びを通じ世代間交流』

H. 将来を担う若者、学生が地域に関われる仕組み

現在、日本全国でレクリエーションの学習、資格の取得をできる大学や専門学校、講座が 485 講座(424 校 18 年度)ある。この講座では、各都道府県レクリエーション協会、市区町村レクリエーション協会の活動と連携して、現場を体験する現場実習がセットされている。学生がグループで個々に活動したり、レクリエーション協会と共に活動したり、「あそびの城」では、特に子どもたちからは、お兄さん、お姉さんの関わりは不可欠になっている。

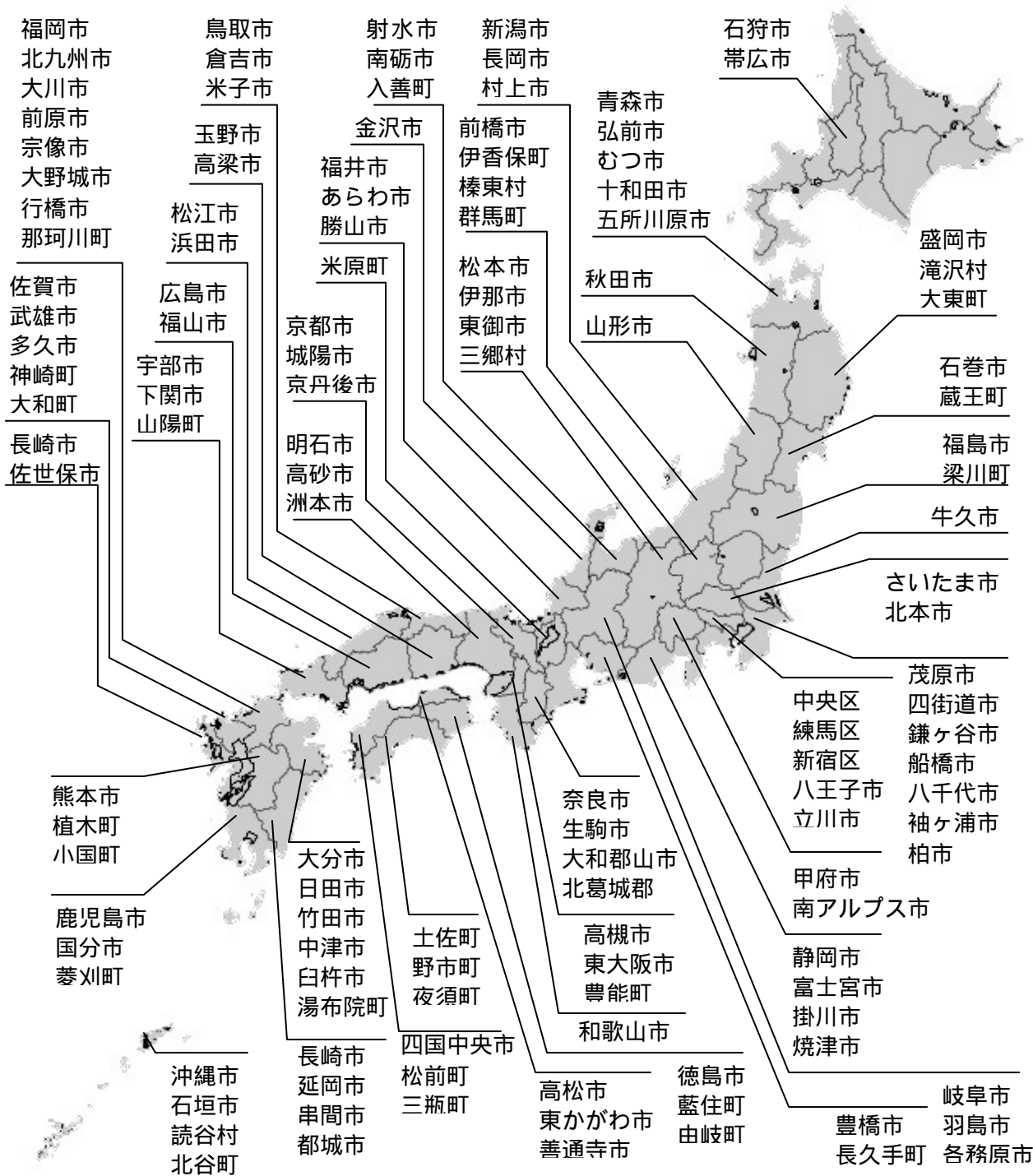
(抜粋)・・・
『子どもたちは学生からの指導で・・・
・・・学生にも教育の場として、レクリエーションの実践に活かして欲しい』



中日新聞
平成 18 年 1 月 20 日 (金) 掲載

I. 親子参加から、気がつけば親がのめり込む雰囲気

はじめは、「あそびの城」へ子どもの送り迎えとして来ていた大人たち。何度と顔を出すうちに顔も覚えられ、立ち話から「ちょっと受付お願いね!」と。気がつけば、子育ての専門家の母親は子どもたちと遊んでいる。「何だ、お母さん、折り紙得意じゃない! 今度お願いしようかな」・・・、という具合に、個々を活かすレクリエーションならではの「あそびの城」。自然と大人も夢中になっている。そのことが子どもたちのみならず、地域にとってより良い方向を向き始めたひとつの証である。そんな個々の得意を活かす活動方法を「事業グループ」と呼んで、地域でレクリエーションを展開する際に推進している。



平成 18 年度「あそびの城」を実施している市区町村（一部複数開催地含む）

左記の市区町村で実施する各都道府県実行委員会の連絡先

北海道レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	011-866-0979
青森県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	017-766-0264
岩手県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	019-647-7413
宮城県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	022-718-0951
山形県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	023-642-4445
福島県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	024-544-1886
群馬県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	027-234-5555
埼玉県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	048-776-2421
千葉県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	043-290-8361
東京都レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	042-490-0012
新潟県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	025-287-8709
富山県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	076-431-9070
石川県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	076-247-6909
福井県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0776-35-5509
山梨県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	055-223-1782
長野県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	026-233-5575
岐阜県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	058-295-7257
静岡県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	054-254-0919
愛知県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	052-252-0909
京都府レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	075-692-3482
大阪府レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	06-6634-1702
兵庫県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	078-334-2065
奈良県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0742-33-1045
鳥取県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0857-23-1866
島根県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0852-33-2211
岡山県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	086-253-7545
広島県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	082-228-6951
山口県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	083-933-4690
徳島県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	088-677-5255
香川県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	087-862-7078
愛媛県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	089-963-1993
高知県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	088-834-3847
福岡県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	092-641-1022
佐賀県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0952-51-3093
長崎県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	095-824-5145
熊本県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	096-380-6662
大分県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	097-567-9590
宮崎県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	0985-58-0096
鹿児島県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	099-255-0225
沖縄県レク協会「あそびの城」づくり実行委員会	098-932-9870

「レクリエーション協会」を「レク協会」と表記

「子どもの居場所」におけるレクリエーション協会の今後

可能性 多くの子どもの居場所「あそびの城」が地域に継続

平成 18 年度は、全国で 167 カ所の「あそびの城」が開催されています。平成 19 年度以降も多くの地区が継続した展開を希望している。行政、企業、地域、あるいは、地域団体などと連携しながら、地域に根付いた子どもの居場所、「あそびの城」を目指していく予定です。3 カ年の運営ノウハウが蓄積しております。

可能性 蓄積した様々なノウハウを共有した展開

全国で活動が展開されていることで、各地区の活動の様子や運営状況、ノウハウといったものが共有できることも大きなメリットとなっています。地域の活かし方、人の活かし方、安全面についての共有など、蓄積した様々なノウハウを共有しながら進めていけます。こういったノウハウを、今後はより多く多くの地域へ発信していきたいと思えます。

可能性 新たな子どもの居場所「あそびの城」を模索

今後、レクリエーション協会としても、子どもの居場所となる「あそびの城」を増やしていく予定です。3 カ年、各地区での展開ノウハウ、運営ノウハウなどを活かし、より多くの地域の方などと一緒にしながら、新たな地区に子どもの居場所、「あそびの城」をつくって行きたいと思っています。

可能性 様々な活動用具、多くの加盟団体との連携

日本レクリエーション協会では、安全で、楽しい遊び道具も満載です。こうした道具を併用した活動また、様々な加盟団体とのパートナーシップのもと子どもの居場所、「あそびの城」を展開することで、子どもにとってより多様な場所として機能するよう図って行きたいと思えます。

可能性 日帰りで「レクリエーション技術」を多くの人へ

今後も、こういった子どもの居場所の必要性を真に捉え、スタッフ不足への課題へも対応していく予定です。レクリエーション・インストラクター研修会はもちろんのこと、その中の一部である、人と人つなぐ「コミュニケーションワーク」は 6 時間程度、安全管理か危機管理をはじめとする「レクリエーション事業論」も日帰り研修で学習ができます。安全で安心な場をつくっていくために、惹きつけるコツ、交流するコツなどを習得することが可能です。地域で、主婦や団塊世代層など向けにはうってつけの研修です。それぞれの得意分野にコミュニケーションのスキルを身につけ、子どもの居場所、「あそびの城」へ関わる人を増やしていきたいと思っています。

詳しくは、日本レクリエーション協会へお問い合わせ下さい

各地区での展開や「あそびの城」については以下まで
各種資料（全国の活動事例、「あそびの城」研修事例など）請求は以下まで
あそび・ネットにて活動紹介 <http://www.recreation.jp/asobi/>
日本レクリエーション協会紹介 <http://www.recreation.or.jp/>

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-20-7 水道橋西口会館 6 階

TEL 03-3265-1244 FAX 03-3265-1253

E-mail soshiki@recreation.or.jp

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	財団法人日本体育協会
問い合わせ先	
（団体名）	財団法人日本体育協会青少年スポーツ部少年団課
（担当者）	少年団課・課長 小林、少年団課・担当 加藤
（連絡先）	
TEL	03-3481-2222
FAX	03-3481-2291
E-mail	kato-r@japan-sports.or.jp
ホームページ	http://www.japan-sports.or.jp/
広報のポイント	<p>本会における地域子ども教室は本会内部組織である日本スポーツ少年団の登録団体を中心に展開されています。</p> <p>スポーツ少年団は、1962年に本会が創設したスポーツクラブ組織です。「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に!」と願いつくられました。全国で約19万人の指導者と、約93万人のスポーツが大好きな仲間たちが、スポーツ少年団に登録しています。</p> <p>スポーツ少年団は、それぞれが独自に自主的で主体性をもった活動を展開しています。そのため、地域の特性や団員の要望などを取り入れて、特定のスポーツ種目のみの活動を行うのではなく、野外活動や文化・学習活動など、ジュニア期に必要な幅広い分野での様々な交流体験活動を年間計画の中に組み入れています。</p> <p>ホームページでは、最寄りの市区町村スポーツ少年団を検索することができます。放課後子ども教室推進事業における単位団の照会や、指導者派遣の協力依頼等の各種お問い合わせは市区町村スポーツ少年団へお願いします。</p> <p>なお、市区町村スポーツ少年団が設置されていない場合は、都道府県スポーツ少年団へお問い合わせください。</p>

関係団体連絡先等登録票

<p>運営協議会名</p>	<p>全国博物館における 地域子ども教室推進事業運営協議会</p>
<p>問い合わせ先</p>	
<p>(団体名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども陶器博物館 2. 財団法人 安部榮四郎記念館 3. 一支國研究会 4. 財団法人 京都府京都文化博物館 5. 九州産業大学美術館地域子ども芸術体験教室 6. 川と歴史の探検隊実行委員会(千葉県立関宿城博物館) 7. 千葉県立房総のむら 8. 徳川美術館 9. 備前長船刀剣博物館 10. 明治大学博物館 11. 北海道開拓の村子ども教室推進実行委員会 (財団法人 北海道開拓の村)
<p>(担当者)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学芸員 林 2. 学芸員 安部己図枝 3. 壱岐郷土館 館長 市山 4. 学芸課 南 博史 5. 緒方 泉 6. 学芸課長 太田文雄 7. 管理課広報・普及グループ 糸原清 8. 企画情報部 加藤啓子 9. 学芸員 植野哲也 10. ミュージアムマネージ部門担当 高橋 11. 企画普及課 松井則彰

<p>(連絡先)</p> <p>TEL</p> <p>FAX</p> <p>E-mail</p>	<p>1 . 0 5 7 2 - 2 7 - 8 0 3 8 0 5 7 2 - 2 7 - 8 0 3 9 kidsland@kanesho.co.jp</p> <p>2 . 0 8 5 2 - 5 4 - 1 7 4 5 0 8 5 2 - 5 4 - 1 7 4 5 eishiro@web-sanin.co.jp</p> <p>3 . 0 9 2 - 0 4 7 - 4 1 4 1 0 9 2 - 0 4 7 - 4 1 4 1 kyodoiki@sweet.ocn.ne.jp</p> <p>4 . 0 7 5 - 2 2 2 - 0 8 8 8 (代表) 0 7 5 - 2 5 2 - 2 9 7 3 (直通) 0 7 5 - 2 2 2 - 0 8 8 9 h-minami@bunpaku.or.jp</p> <p>5 . 0 9 2 - 6 7 3 - 5 1 6 0 0 9 2 - 6 7 3 - 5 7 5 7 ogata@ip.kyusan-u.ac.jp</p> <p>6 . 0 4 - 7 1 9 6 - 1 4 0 0 0 4 - 7 1 9 6 - 3 7 3 7 oota@sekiyadohaku.com</p> <p>7 . 0 4 7 6 - 9 5 - 3 3 3 3 0 4 7 6 - 9 5 - 3 3 3 0 itohara@chiba-muse.or.jp</p> <p>8 . 0 5 2 - 9 3 5 - 6 6 6 8 0 5 2 - 9 3 5 - 9 4 4 4 kato@tokugawa.or.jp</p> <p>9 . 0 8 6 9 - 6 6 - 7 7 6 7 0 8 6 9 - 6 6 - 7 9 7 1 tetsuya_ueno@city.setouchi.lg.jp</p> <p>10. 0 3 - 3 2 9 6 - 4 4 4 8 0 3 - 3 2 9 6 - 4 3 6 5 ma69004@mics.meiji.ac.jp</p> <p>11, 0 1 1 - 8 9 8 - 2 6 9 2 0 1 1 - 8 9 8 - 2 6 9 4 info@kaitaku.or.jp</p>
<p>(ホームページ)</p>	<p>1 . http://www.kanesho.co.jp</p> <p>2 . http://www.j-muse.or.jp/</p> <p>3 . http://www.ikikoku.jp</p> <p>4 . http://www.bunpaku.or.jp</p> <p>5 . http://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/</p> <p>6 . http://www.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/</p> <p>7 . itohara@chiba-muse.or.jp</p> <p>8 . http://www.tokugawa-art-museum.jp/ 子ども向け:http://www.yoshinao.net</p> <p>9 . http://www.city.setouchi.lg.jp/~osa-token/</p> <p>10. http://www.meiji.ac.jp/museum/</p> <p>11. http://www.kaitaku.or.jp</p>

広報のポイント

1. 地域の産業でもある、陶磁器に関わる活動内容ですので、地域産業に対する理解を深めながらも、楽しみながら体験できるよう考慮しています。絵付け体験を中心に活動を行っていますが、地元でも、絵付け体験はできて、子ども向けにやっている施設はあまりないことや、当館が普段から子どもたちの利用が多いこともあり、絵の具の色やアイテムも豊富に取り揃えているので、子どもが自由に自分の好きな絵を創造力豊かに描く事ができます。また、活動は博物館内の絵付け工房に限っているので、不審者等の心配もなく、安全で子どもだけでも安心して参加できます。
2. 放課後だけでなく、これまでも続けてきた家族で参加できる取り組みは、地域の人と人をつなぎ、よい結果を出しつつあります。このことは子どもたちが地域で安全に安心して遊べる居場所になります。何よりも地域の指導員が地域の文化・生活の知恵、生きる技を学ぶことができました。（活動範囲：松江市内）
3. ボランティアの指導者、コーディネーターがお世話します。吉岐の自然の中で様々な体験学習を行います。自然が教室、教科書です。自然観察・歴史体験・工作創作活動・昔遊び・昔話・科学実験・パソコン教室・レクレーション等。
4. 京都文化博物館において開催する展覧会では年間を通じて子ども教室を実施し、子どもたちが京都の文化・芸術に触れる機会をより多く演出します。また、学校・地域団体と連携して子どもたちが安全で安心して活動できる居場所を提供していきます。
5. 芸術学部を有する大学だからできる創造性プログラムを提供。子ども達は銅版画やコラグラフ、フォトグラムなど専門的な「造形表現」を体験します。
6. 関宿城博物館と地域の人たちが中心となり、博物館や博物館周辺で「昔のあそび」や「カヌー体験」「自然観察」など子どもや親子を対象とした事業を3年間展開してきた。昨年は6千人を超える子どもたちが参加し、保護者を含め1万人以上が体験した。今年も4千人を超える子どもたちが楽しんでおり、週末には子どもたちの楽しそうな笑い声が絶えない。
7. 江戸時代末から明治時代初期の商家の町並み・武家屋敷・農家などを再現した、当館の豊かな自然・歴史環境を生かした居場所づくりを行います。これまでの昔の遊び体験のほか、当館の様々な体験施設を活用することにより、伝統的な技術や生活様式を身近に学び、さらに異世代交流も活発に行えるものと考えます。
8. 徳川美術館は尾張徳川家に伝えられた数々の重宝、いわゆる「大名道具」をそっくりそのまま収め、展示・公開しています。収蔵品は徳川家康の遺品を中心に、初代義直（家康第九子）以下代々の遺愛品や、その家族が実際に使用した品ばかり一万数千件におよびます。世界的にも有名な「源氏物語絵巻」をはじめ国宝9件、重要文化財57件を含み、徳川美術館ならではの豊富さ、質の高さ、そして保存状態の良さを誇ります。
当館では、「子ども教室」と題し、「土曜子ども教室」と「夏休み子ども特別企画」の2つの企画を実施。「土曜子ども教室」は毎週土曜日（8月を除く）1日3回各1時間、小中学生を対象に、毎月月替わりの内容で、展示室での解説や大名文化を体験する「体験タイム」（刀や火縄銃の分解、兜の着装、折本の作成、貝あわ

せ、琴の演奏など)を実施し、尾張徳川家に伝わった大名道具を紹介しています

「夏休み子ども特別企画」は8月の毎日(解説および貝あわせは1日3回実施)、小中学生を対象に、企画展の展示解説、ギャラリー・クイズ、貝あわせ、兜づくりを実施しています。さらに、学校からの団体での体験や解説にも対応しています。

9. 刀剣の里には刀鍛冶だけでなく、白銀師・塗師といった刀職者がおり、話しをすることができる。様々なものづくりの相談も受けている。また、小刀製作講座においては、本物の職人(刀鍛冶)の指導を受けながら本物の素材を使った小刀の製作ができる。材料費は高額ではあるが、一生の宝物作りができる。

10. 明治大学博物館は、博物館友の会ボランティア解説員の協力のもとに地域の小・中学生の居場所作りとして、下記のような活動を行っております。

常設展示室内の畳敷きブースでの活動

毎週 火・木・金曜日開催

絵手紙用ポストカードに展示資料をスケッチしよう!

からくり人形を使って、江戸時代の遊びを体験しよう!

紐をよって、粘土に縄目模様をつけてみよう!

折紙で、博物館をイメージした作品を作ってみよう!

クイズ“これから何が出来る?(本物さがし)”

「みゆ - じゃむ探検ノート」を持って、館内を探検。

第1弾 掘り出された 子どもの歴史 - 石器時代から江戸時代まで

第2弾 明治大学 いろは - 大学史展示室を調べてみよう

第3弾 Mm ADVENTHRS (マップ)

イベント

夏休み小学生・親子向けバックヤードツアー (8/18・24)

折紙を使って「花紋折りパッケージ」を作ってみよう!(12/21)

中学生向け博物館バックヤードツアー (12/23)

土偶をつくろう!(3/17・予定)

「博物館で働く - 社会に出る・社会を知る -」(アウト・リーチ活動 2/16・予定)

11. 子ども教室の舞台である北海道開拓の村では、52棟の移築・復元建造物・資料などの「野外博物館」の機能、さらに周囲の恵まれた自然環境を活用し、地域住民である様々なボランティア組織と協働により「子どもの居場所」を設けております。主な事業は、先人たちの生活文化を体験的に学び地域文化の継承と創造を育む心を養う七夕やひなまつりなどの【年中行事】創造性や技術力を高め、また北海道における果樹栽培農業を学ぶ版画教室やりんご農作業体験などの【創作・農作業体験】。技術力や想像力を高めるとともに仲間作りや社会性を養う薪割りやわらぼうりづくりなどの【昔の暮らし体験】。地域文化の伝承と創造を育む心を養う【おはなし会】。と4つのねらいにわけ約20事業を一年通して実施しています。

こども陶器博物館 地域子ども教室推進事業活動内容

こども陶器博物館・・・岐阜県多治見市美濃焼卸センター内に位置する

こども茶碗や絵本原画などを展示し、普段からこども、またはこどもを持つ家族が多く来館することから、館内体験施設を利用し、放課後や土日、また春休み・夏休みの子どもたちの居場所づくりを目的に、地域子ども教室推進事業として絵付け教室・ものづくり教室を行なっている。

活動内容・・・

当館内に併設している絵付け工房で絵付けを中心とした教室を開催。

初めての方や小さいお子様でも簡単に絵付けが出来るようスタッフが指導。

活動日時は開館中随時。10:00～17:00（16:00 受付終了）

基本的には月曜・火曜休館日なので水曜～日曜（ただし春休み・GW・夏休みは毎日）

予約不要。当日直接申し込み。

月に1回程度特別な技法での絵付け教室やものづくり教室も実施。（予約制）

夏休みには陶芸家の先生の指導による特別絵付け教室も行なう。

絵付け教室活動のねらい・・・

絵付け教室で、こどもたちに、地元の産業である陶器に関わる体験をしてもらうことで、伝統的な美濃焼きの絵付けの技法とその製造過程について、体験しながら理解してもらう。また、地元の方たちだけでなく、あまり関わりのない方たちにも触れやすい形で教室を開催することで、よりたくさんの方に参加してもらい陶器についての理解を深めてもらうとともに、焼き物をより身近なものに感じてもらう。地元の方や子どもたちには、近くにこのような場所と教室があることを知ってもらい、気軽に利用してもらうことで、居場所づくりにもつなげる。

具体的な教室の内容・・・

絵付けコース

下絵つけ・・・食器として使えるアイテムを作る。陶器としては半製品である素焼きに筆で絵をかいてもらい、お預かりし、施釉・焼成の後お渡し。

お渡しまでの期間は一ヶ月程度。

上絵付け・・・主に飾り用のアイテムを作る。そのままでも完成したアイテムに、更に上から筆で絵を描き焼き付ける。下絵つけとは区別し、飾り用アイテムとして使用してもらう。お渡しまでの期間は2週間程度。

筆が使えない小さいお子様向けにはクレヨンシリーズ。(陶器用の特殊なクレヨンで絵付けして焼き付ける)

その他体験コース

陶製コースター・・・当日もって帰りたい方におすすめ。陶製のコースターに油性ペンで絵を描き、焼成せずにそのまま持ち帰る。筆が使えない小さいお子様向け。

紙粘土・・・紙粘土で好きなものを作ってもらう。こちらもそのままうちに持ち帰り乾燥させて完成。焼成しない。

過去の活動例・・・

- ・ 昔の技法でつくってみよう・・・銅版転写を使って絵つけしよう
 - ・・・摺り絵で絵付けしよう
 - ・・・ゴム版で絵付けしよう
- ・ 特殊な技法でつくってみよう・・・転写シートで絵付けしよう
 - ・・・スクラッチで絵付けしよう
 - ・・・筆以外の道具で絵付けしよう(糸・綿棒)
- ・ ものづくり教室・・・立体ねんどパズルをつくろう
 - ・・・タイルでカレンダーをつくろう
 - ・・・陶製八ガキを送ろう

など

当館絵付け教室または、イベントの様子は当館HP <http://www.kanesho.co.jp> でもご覧いただけます。

こども陶器博物館は、こどもたちが楽しく学べる場所、安心して過ごせる場所となれるよう日々活動しています。

一支國子どもクラブ参加者募集!!



とき 毎週土曜日・日曜日、夏休み期間中
午後1時30分から午後4時(予定)まで

場所 壱岐郷土館 (郷ノ浦)まなびの館(芦辺)
その他市内の遺跡、山野、海岸など

- ・参加対象 小学生(保護者の方も参加できます)
- ・クラブの内容 毎週土曜日・日曜日の午後の時間に開催します
(夏休み中は平日も開催します)

ボランティアの指導者、コーディネータがお世話します

壱岐の自然の中で様々な体験学習を行います。自然が教室、教科書です

家族、お友達、兄弟誘い合って「一支國子どもクラブ」に参加しませんか

内容は毎週変わりますが大きく分けて、自然観察・化学実験・歴史体験・
工作創作活動・パソコン教室・壱岐の昔話・昔遊び・レクリエーション等です
(詳しくは事務局にお尋ねください。 47-4141)

地域の大人の方へ

青少年問題行動の深刻化、青少年の奉仕・体験活動の不足、近隣住民間の連携
の欠如などの社会問題を抱えて、今の子ども達にしてやれることは・・・

壱岐の自然を活用し、保護者や地域の皆さんが主役となって、値域に根ざした
体験活動や交流活動を提供することにより、社会全体で子どもを育む環境を充実
させ、地域の教育力の再生を図ることを目的に開催します

この事業は文部科学省の「地域子ども教室推進事業の支援を得て実施します。
主催 一支國子どもクラブ実行委員会(事務局:壱岐郷土館 47 4141)



京都文化博物館子ども教室実行委員会

No.1 平成18年度京都文化博物館子ども教室事業一覧

文博子ども教室	触ってみよう エジソン・コレクション	手作り電池教室	京都文化博物館別館 クイズラリー	子ども木版画ワークショップ	子どものための 京都文化教室	史記の世界 体験ルーム	京都文化博物館探検ツアー クイズdeビンゴ	博物館に親しむ講座 手で触れる京の人形
母体事業	エジソン展	エジソン展	別館100周年記念事業	北斎と広重展	夏休み企画	司馬遷の史記展		常設 京の人形展
担当者	森脇	森脇	洲鎌	野口	歴史担当	南	森木	藤本
時期/回数	4/25～5/28 随時	5/5 1回	6/3～7/2 随時	7/29 8/8 2回	8/5,6 8/12,13	10/19～12/3 随時	2月17日	2/3,4 2回
対象/人数	制限なし	小学生(高)～中学生 30人	中学生以下	小学生(高)～中学生 10～15人	小中学生 20人	小学生(高)～中学生	小学生(低)～中学生	小学生(高)～中学生親子5組
人員	ボランティア定員2	ボランティア6名	なし	講師2名、ボランティア2名	講師4名(学芸員)ボランティア2名	学芸員、ボランティア5名	学芸員、ボランティア5名	講師(学芸員)、ボランティア5名
内容	エジソン展のハンズオンコーナー。トースターなどエジソンの発明品に触ってみよう。	電池制作体験。世界に一つだけの、オリジナル電池を作ろう。材料費等は参加者負担。	クイズラリー形式で明治建築を見学、クイズが解けた子には缶バッジをプレゼント。	紙製圧縮板を使って、多色木版画を体験する。鑑賞とセット。親子での参加も可。	1日目は染め工場の見学・金彩袱紗の制作体験。2日目は町家で浴衣の着付けにチャレンジそして、昔遊びで楽しみます。	兵馬俑の兵士に変身コーナーを設け、子どもたちが体験。その他ワークシートを配布。	日ごろ見ることのできない博物館の裏側見学とクイズに答えながらビンゴゲームを楽しみます。	展示室見学と解説。作品を教材として、扱い方や感触などを学ぶ。観察ノート等を作成。博物館実習の入門編。

京都文化博物館子ども教室実行委

No.2 平成19年度「京都文化博物館子ども教室」開催予定表

母体事業	丸紅コレクション「絵画と染織の名品」展	プリンセスの輝き「ティアラ展」	世界遺産「ナスカ展」	トルコ・トプカプ宮殿の財宝展	京都府美術工芸展	魁夷生誕100年「川端康成と東山魁夷」展	乾山の芸術と光琳展	子どものための京都文化教室	常設リ-
担当者	学芸員	学芸員	学芸員	学芸員	学芸員	学芸員	学芸員	子ども教室実行委員会	寺
時期/回数	4/13～5/27 1回	6/9～7/22 1回	8/4～9/24 体験コーナー 設置 随時	10/6～12/2 1回	12/15～1/6 1回	1/16～2/24 1回	3/8～4/13 1回	企画2回 夏 休みと春休み	毎
内容	丸紅コレクションからボッティチェリ、ルノアール、ルドン他西洋絵画を一堂に紹介	スペイン、イギリス他西洋の歴代王朝の秘宝のティアラとその女性の服飾なども紹介する日本初めての展覧会。	南米ペルーの「ナスカ地上絵」を最先端バーチャルシアターで体感します。	イスラム世界の大国オスマン帝国の文化発信基地となったトプカプ宮殿の貴重なコレクションを紹介します。	京都の美術工芸作家の公募展	東山魁夷の作品に記した川端の言葉をガイド役に展覧します。	尾形光琳の生誕350年と弟乾山の鳴滝窯開窯310年を記念する展覧会です	地域の皆さんと企画する教室です。	常設 史コ- 学芸 と共 りま

つながる！子ども、芸術、大学

- 大学美術館が取り組む「子どもの居場所」づくり -

九州産業大学美術館地域子ども芸術体験教室 推進事業実行委員会

九州産業大学美術館は、大学附属機関として2002年4月1日に開館しました。

現在、日本全国の大学・短大に設置される、「学術標本の整理、保存、公開展示、情報提供、研究・教育」機関であるユニバーシティ・ミュージアム約200館のうちの一つです。

本学美術館は学生の教育研究の場とともに、「地域に開かれた大学」として地域住民の生涯学習活動の場を提供し、平成16年度から文部科学省「子ども教室推進事業」を日本博物館協会から委託され「創造性教育プログラムによる子どもの居場所づくり」を実施しています。



「創造性教育プログラムによる子どもの居場所づくり」は、大学が有する社会的基盤・資源である「ひと、もの、こと」を活用することに特徴があり、地域密着型教育支援システムの構築を目指すものです。特に、芸術学部を有する本学だからできるユニークなプログラムが多数あります。

具体的な事業には、幼児・児童・生徒対象の「子ども芸術教室」があります。

地域子どもたちにとっては、学校や地域ではできない銅版画やコラグラフ、フォトグラムなど専門的な「造形表現」プログラムが体験できる場になっています。また、芸術を媒介にした大学生との交流を通じて、美術館はコミュニケーション能力、自尊感情などを培う「アートセラピー」プログラムの研究開発も行っています。

こうした本学美術館の取組には、本学学生、大学院生が学習成果を活かしたボランティアとして多数参画していて、地域社会貢献できる人材及び創造的かつ実践的な人材の育成につながり、高い教育効果を上げています。

なお、こうした取り組みを広範な学生の参加を促す意味から、本学芸術学部では、2004年度から2年次以上が履修できる総合科学科目「ボランティア活動(A):2単位」を設置し、学生のボランティア参加と活動を評価できるようにしました。



むかしのくらしと遊び実行委員会の活動内容について

1. **活動場所** 千葉県立房総のむら内（千葉県印旛郡栄町竜角寺1028）

2. **活動開始時期** 平成18年4月1日～

3. 千葉県立房総のむらについて

房総のむらは、房総の伝統的な生活様式や技術を来館者が直接体験するとともに、県内各地から出土した遺物や、武家・商家・農家などの展示を通して歴史を学んでいただくことを目的とする博物館です。

所在地：千葉県印旛郡栄町竜角寺1028

開館時間：午前9時00分～午後4時30分

休館日：月曜日（祝日の場合は火曜日）・年末年始・臨時休館日

入館料：一般300円 高・大学生150円 中学生以下・65歳以上無料

4. 実行委員会の活動内容

（1）土日を中心に、イベントを実施

- 「竹の紙鉄砲づくり」
- 「紙芝居・千葉の昔語り」
- 「竹の豆鉄砲づくり」
- 「七宝キーホルダーづくり」
- 「凧あげをしよう」
- 「たき火をしながら遊ぼう」など

（2）子ども会などの団体から予約を受けて事業を実施

- 「竹の水鉄砲づくり」
- 「結んでみよう」など

（3）いつでも遊べる事業を実施

農家庭先での竹馬遊び・羽子板遊びなど

5. 事務局

千葉県立房総のむら内

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	全国科学系博物館等における 地域子ども教室推進事業運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	独立行政法人 国立科学博物館
(担当者)	広報・サービス部 情報・サービス課 課長 井上透、 係長 齋藤健
(連絡先)	
TEL	03-5814-9861(課長)、9864(係長)
FAX	03-5814-9898
E-mail	ibasyo@kahaku.go.jp
(ホームページ)	http://www.ibasho-kagaku.com/
広報のポイント	<p>当運営協議会がとりまとめを行った65の実行委員会における平成17年度の活動内容を、「実施事例集」としてPDFファイルにまとめました。</p> <p>これをCD-Rに収め、各都道府県・政令指定都市教育委員会ご担当者様宛に発送させていただきました。</p> <p>ぜひご覧いただき、科学系博物館等ならではの教室についてご理解いただければと思います。</p>

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	子どもメディアフォーラム運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	子どもメディアフォーラム運営協議会 事務局
(担当者)	稲田 友
(連絡先)	TEL 0120-346-661 FAX 03-3500-8842 E-mail houkago@ntt.com
(ホームページ)	http://kodomo-mf.jp
広報のポイント	<p>「インターネット子ども教室」と題して、平成18年度は全国約300ヶ所で活動を行っております。</p> <p>子どもたちの自ら学習する意欲をつけ、学力向上することを目的とした「放課後学習クラブ」と、身の回りの安全について自ら考え、判断する力を養う「安全教材パッケージ(インターネット安全・生活安全・食の安全の3点セット)」を提供して、子どもたちが有意義に放課後を過ごせる環境を作っています。</p>

子どもメディアフォーラム

放課後子ども教室推進事業 「子どもメディアフォーラム」インターネット子ども教室

■子どもメディアフォーラムの概要

子どもメディアフォーラムでは、文部科学省「地域子ども教室推進事業（H16～H18）」での実践において、子どもたちの身の周りに潜む危険な出来事から、子どもたちが自らの力で危険を回避できるようICTを活用した取り組みを推進しております。

また、国語、算数などの基礎学力の向上と子どもたちが自ら学習する意欲を高めるための取り組みも推進しております。この教室を通じて、子どもたちの心情を育み情操を豊かにし、お互いを認め合うコミュニケーションの大切さなどを学ぶことを目標としております。

さらに、講師となるボランティアの方々の育成をはじめ、世の中に散乱するさまざまな危険から子どもたちを守る術を「学校と地域と家庭」の相互理解を深めることで実現できるよう支援しております。

受講してほしい子どもたち

放課後や休日の時間を有効活用したい



クラブ活動等に参加していない

インターネットやICTを利用して勉強したい



放課後の学校や公民館



放課後の学校や公民館・児童館などでICTを活用して幅広い知識を身につける。

- ・インターネット安全教室
- ・生活安全教室
- ・食の安全教室 など



放課後や休日の子どもたちに居場所を提供する

インターネット子ども教室での学習内容

子どもたちの身の周りの安心・安全教材パッケージ

子どもインターネット安全教室 対象学年：小3～小6



子どもたちが、楽しみながらインターネットの基礎知識、危険性、モラルなどを学ぶことができます。

子ども生活安全教室 対象学年：小1～小6



子どもたちが、日常生活において犯罪に巻き込まれないための知識を、体験型のストーリーにより楽しみながら身に付けることができます。

子ども食の安全教室 対象学年：小4～小6



子どもたちが、食に関する知識を身に付け、健康な食生活を営む力を養うとともに「食育」に関連したインターネット等を通じて「食」に関する知識を深めることができます。

学力向上教材パッケージ

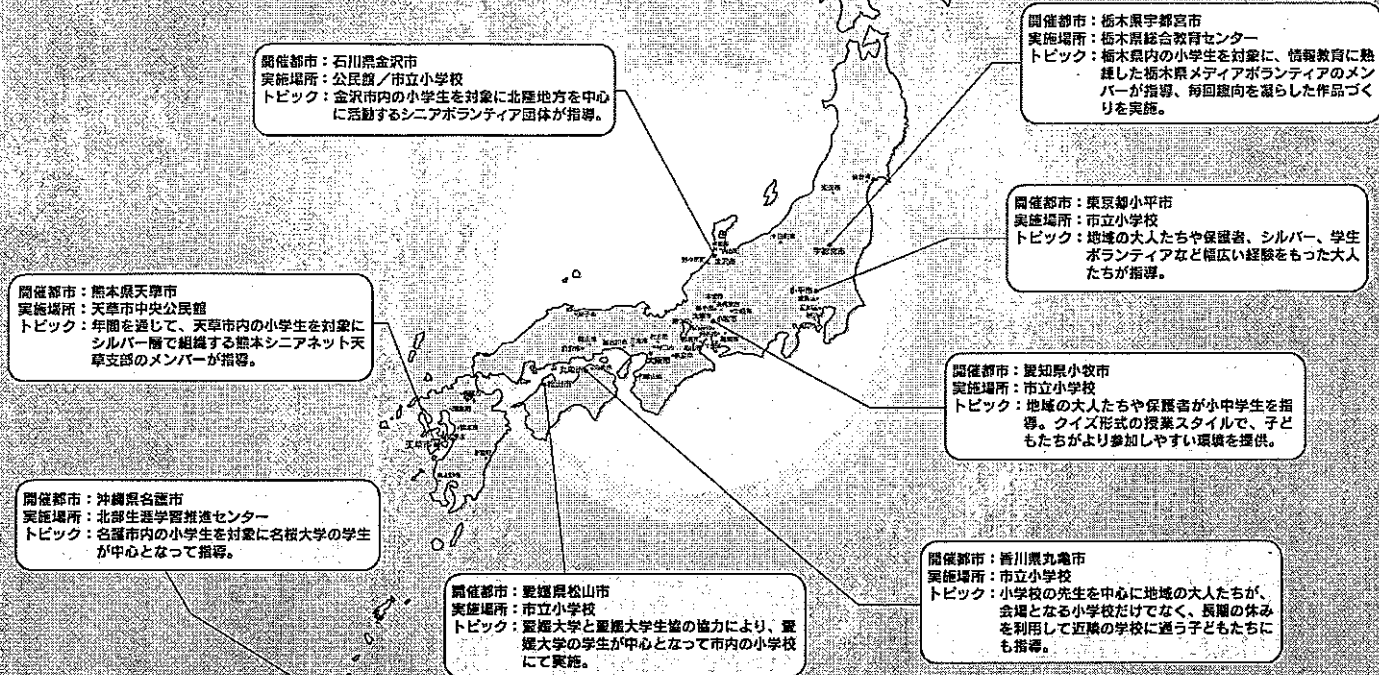
放課後学習クラブ 対象学年：小1～小6

- ・自主学习用のプリント教材です。
- ・個々の児童の理解度に合わせて、カスタマイズされた問題をプリントできます。
- ・操作インターフェースは、バーコードで統一されており操作が簡単です。
- ・問題につまずいた時は、マルチメディアの解説を参照することができます。
- ・小学校用に国語、算数を準備しており、年間を通して利用することができます。
- ・自己採点方式により、問題をやらされるのではなく、児童の「自ら学習する意欲」を喚起するため、学習が継続します。
- ・学習の結果が目に見えるため、児童の自信につながります。



インターネット子ども教室 平成18年度・実施予定マップ

インターネット子ども教室



平成18年6月現在

「子どもたちの判断力を育む」
東京電機大学 教授 高橋 時市郎

Webやメールなどインターネットを通じて子どもたちのコミュニケーションの世界は急速に広がっています。

実際にインターネットを使うときに起こりうる危険な状況を、体験型教材を通じて学ぶのが、インターネット子ども教室です。ルールや対処法を覚えるだけでは、日々進化するインターネット社会には対応できません。

体験型教材は、子どもたち一人一人の正しい判断が迷う場合には、その結果も違うような仕組みになっています。この教材を学ぶことによって、様々な場面でどうしたらよいかを具体的に考え、判断する力を育むことができます。

インターネット子ども教室は、放課後や週末に学校や公民館で開催されます。

インターネット初心者にはボランティアの方や大学生が親切に教えます。ぜひ、インターネット子ども教室に参加して、安全に安心してインターネットを活用できる知識と判断力を身に付けましょう。

◎大城パソコン倶楽部を結成
『愛知県小牧市』
E場所メディア塾 出口 美紀

4年前、小学校のPTAサークルとして「大城パソコン倶楽部」を結成しました。

パソコンのスキルアップでなく、「PCを使って何か出来るか」と「一人の失敗はみんなの学び」としてアナログを通じて人的ネットの構築を計っていました。

子どもメディアフォーラムのソフトを見せたいので自分達が苦労して今まで企画したもの、とてもわかりやすく楽しんで使えるソフトに感激し、参加を申し出ました。

スタッフも、他校の同じ視点を持った人たちに声をかけ11名のスタッフに、小3から中2までの個性豊かな子ども達26名と毎回独自スタイルで楽しく学んでいます。

インターネットの危険性を学びながらもインターネットの楽しさをみんなで分かち合うことをポイントに置いています。そして今後の子ども達とは「PCを通じて何でも話せる近所のオバサン」になれるよう心がけています。

◎シニアと子どもたちが一緒に活動
『熊本県天草市』
熊本シニアネット天草支部 金澤 裕蔵

「子ども・シニア」・「公民館」を連携することによって、公民館を心豊かで、たくましい子どもを育むための地域の拠点にしたいというねらいで、新しい課題になっている子どもとインターネットというテーマに取り組みました。

「インターネット子ども教室」に、独自に作成した体験教材を加え、子どもとシニアが楽しみながら学校とはちがった学習をすることができました。

インターネットの危険性・マナーなどをワクワクしながら学習できる体験教材があったから成功したと思います。

天草市中央公民館 6月～翌年2月(3時間×17回×午前の部、午後の部)各12名(小学校4～6年) 隔週土曜日開催
補助講師(シニアボランティア)5名/回

◆子どもメディアフォーラム運営協議会◆
<http://kodomo-mf.jp>
TEL: 0120-346-661 (フリーダイヤル)
(受付時間: 9:00～17:00)
e-mail: support-kmf@ntt.com

インターネット子ども教室	カリキュラム	対象年次	時間数
子どもたちの身の周りの安心・安全学習教材	子どもインターネット安全教室	小3～小6	48時限
	子ども生活安全教室	小1～小6	6時限
	子ども食の安全教室	小1～小6	8時限
学力向上教材(放課後学習クラブ)	小学校(国語)	小1～小6	100時限
	小学校(算数)	小1～小6	100時限
	小学校(英語)	小1～小6	100時限

◆お問い合わせ◆

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	全国民間団体運営連絡協議会
問い合わせ先	【貴団体の活動内容に対する、地方公共団体からの問い合わせ先について、下欄にご記入下さい】
(団体名)	(特)NPO推進ネット
(担当者)	事務局 竹内 延彦
(連絡先) TEL FAX E-mail	<p>03 - 5785 - 1570</p> <p>03 - 5785 - 1571</p> <p>ibasyo-kyogikai@npo-suishin.net</p>
(ホームページ)	http://ibasyo-kyogikai2006.seesaa.net/
広報のポイント	<p>これまで各地域において長年活動実績を蓄積してきたNPO法人ほか民間団体が、全国36都道府県にまたがったネットワークを築きつつ活動を展開しています。協議会直轄事業のほか、全国を13のブロックにわけ、それぞれに実行委員会を設置し、日々現場と密に連携しつつ、子どもたちの安心安全な居場所づくりに努めています。ぜひ、今後とも、そのような地域に根ざした民間団体を活用いただきますよう切に希望いたします。</p>

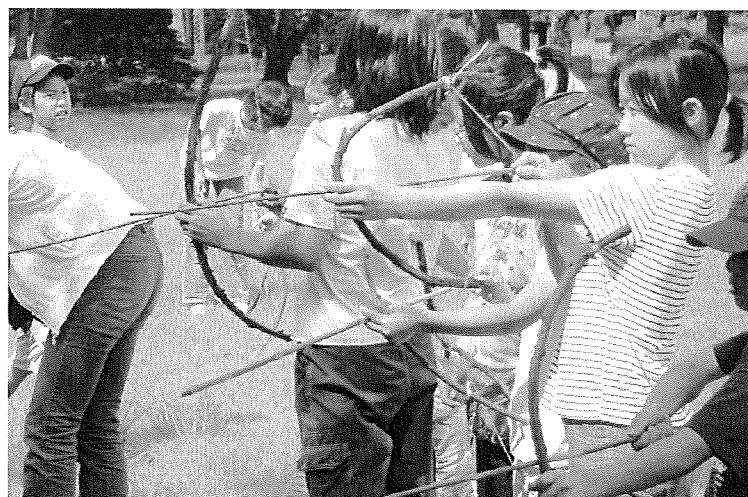
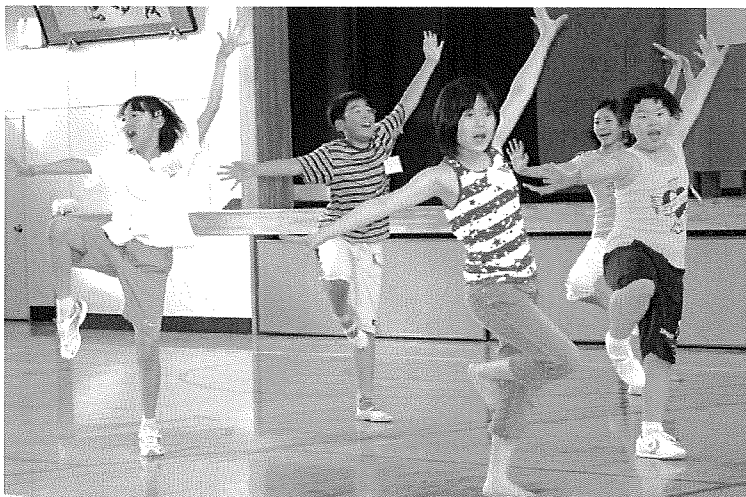
文部科学省「地域教育力再生プラン」委託事業

子どもの居場所づくり 地域子ども教室推進事業

全国民間団体運営連絡協議会



2006



子どもたちに
ワクワクドキドキ
忘れられない体験を!

子どもたちに
安心して
ホッとできるひとときを!

子どもたちに
世代を超えた
素晴らしい出会いを!

豊かな子ども時代を 地域の子カラで!

私たちは、地域のすべての子どもたちが
心豊かに育つことを願い
日本各地の子どもたちが暮らす街で
「子どもの居場所づくり」を実施・運営する
民間団体のネットワークです。

2006年度は、
民間団体協議会と全国13の実行委員会、
205団体が緊密なネットワーク形成し
244の子どもの居場所を運営しています。

■ 文部科学省では、全国の地域で放課後や休日に地域の大人の協力を得て「子どもの居場所」をつくり、文化活動など多彩な活動が展開されるよう、家庭、地域、学校が一体となって取組む「子どもの居場所づくり新プラン」を16年度より3カ年計画で推進しています。この事業の一つ「地域子ども教室推進事業」は、希薄になった地域の子どもの居場所を再生する目的で、文部科学省からNPO（民間非営利団体）への直接委託という画期的な展開が実現しています。

民間団体の事業特徴

■ ネットワーク&サポート体制

私たち6団体による「地域子ども教室」全国民間団体運営連絡協議会は、本事業二年度目にあたり、北海道から沖縄まで13の拠点実行委員会と「子どもの居場所」実施205団体によって構成し事業を推進しています（p4参照）。

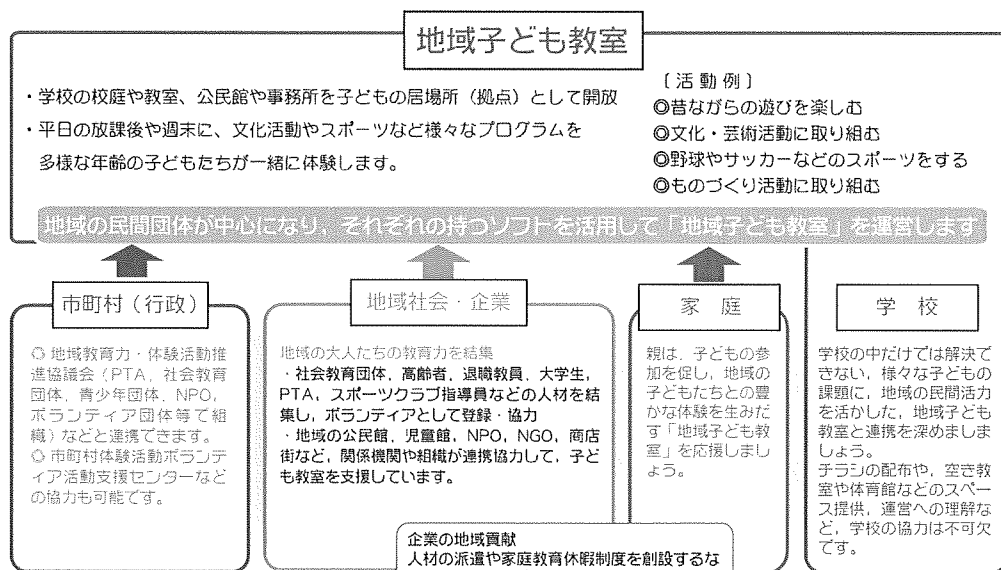
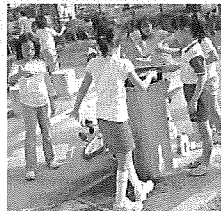
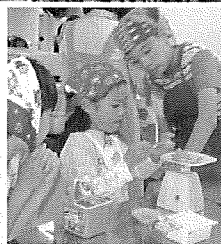
本協議会は民間ネットワークならではの「多彩な人」「情報・交流」「機動力」を最大限に活かし、それぞれの地域ニーズに即した、地域ボランティアコーディネート・広報・行政や学校とのコラボレーションといったマネジメントサポート、そして、子どもの気持ちにより添った「子どもの居場所」とするための指導員研修や子どもの安全・安心を確保しながら多様なプログラムを実現していくソフト開発などをネットワークときめ細かなサポートによって、子どもの居場所を地域に再生していく活動を展開しています。

■ 事業規模（2006年度「地域子ども教室」全国民間団体運営連絡協議会1次/2次全採択分 総予算・約3億7,400万円）
今年度の事業規模は、36都道府県、205団体・244事業、子どもの参加予定延べ632,338人、指導員の参加予定延べ99,009人、ボランティアスタッフの参加予定延べ72,309人となり、世代を超えた地域コミュニティの再生につながっています。（2005年度実績では、10代から80代の地域の人々が協力しています。）

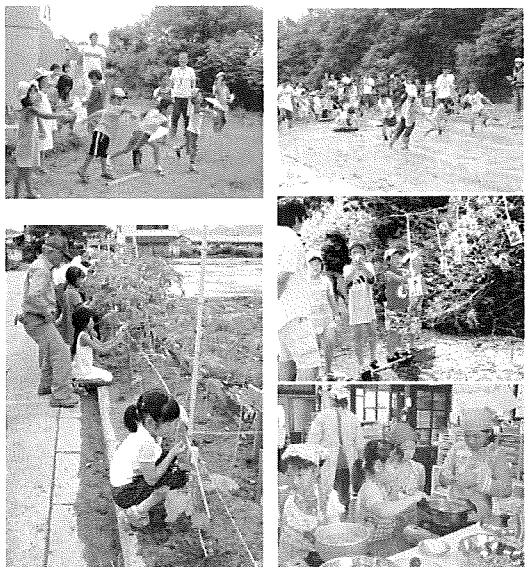
■ 調査研究

地域ニーズにマッチした「居場所」とは？ 子どもたちが求める「居場所」とは？ 最も大切な部分をていねいに検証し、継続的に運営できる「居場所づくり」に取り組んでいます。

（2005年度「地域の民間団体による「子どもの居場所」づくりに関する調査研究報告書 参照）



● 私たち民間団体による子どもの居場所づくりの活動は、楽天KC株式会社ならびにサントリコーポレートビジネス株式会社からのご支援もいただきながら推進されています。●



■子どもの居場所に参加した子どもたちの声

●子どもの居場所は、どんなところか自由記述で尋ねた結果、地域子ども教室はほとんどの子どもが「楽しいところ」と答え、また「安心して自分を出してもいい場所」と答えている子どももいる。学区を越えた子どもとの出会いで緊張感はあるものの、少人数の友だち関係で、気心が知れてくると安心して自分を出せ、今まで出会わなかったおとなと出会い、自分を認めてもらえ、周りの人の目を気にしながら過ごす学校の「教室」とは全く空気が違う「教室」と捉えている。新しい遊びを覚えたり、割り出したりと、みんなとの共同作業を通じて、自分の居場所が確保できていることがうかがえる。

(n=1901人)

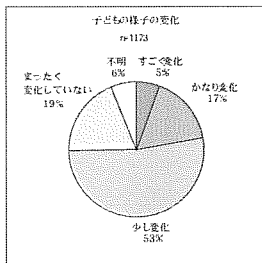
- ◇ もう終わっちゃうの!もっとやりたい。楽しい。4時半じゃたりない。(小3・女子)
- ◇ ゲームをやっているもすぐに入れてもらえるところ。友だちと会うのが嬉しい。(小6・女子)
- ◇ 話や悩みを聞いてくれる。おとなの話が聞ける。(中1・男子)
- ◇ 知らない人でも仲良く出来て、いっぱい知らない遊びが出来て楽しいところ。(小3・女子)
- ◇ いろんな楽器が吹ける。楽譜が読めるようになる。(小4・女子)
- ◇ いろんな探検がさせてもらえる。(小4・女子)
- ◇ ちょっとおとなになった感じ。意思をはっきり言える。(小5・女子)
- ◇ イーサーの練習をしたりダンスが楽しい。(小2・女子)
- ◇ おとなと普通にしゃべれる。リラックスできる。楽しくしゃべれる。(小5・男子)
- ◇ 山あり、川あり。(小5・男子)
- ◇ ルールに従うんじゃなくて自分たちでルールをつくる場所。(小6・女子)
- ◇ 自分が出せて、安心してできる場。(中2・女子)

2005年度民間団体の居場所調査より

写真は2006年度撮影です

■子どもを参加させた保護者の評価

●保護者に子どもの居場所に参加しての「子どもの様子の変化」を聞いたところ、「すごく変化した」5%、「かなり変化した」17%、「少し変化した」53%となっており、約3/4の保護者が、地域子ども教室に参加することで子どもの様子の変化を実感している結果となった。(n=1173人)



- ◇ 表情が豊かになった。遊びの中で想像力を働かせる事が好きになった。
- ◇ 学校とは違う友達が出来て、色々な事を吸収してきます。上下関係も学んで、しっかり自分の気持ちを言葉に出るようになったと思います。
- ◇ 発表会を目標に生き生き生活している。生活に張りが出てきたように思う。
- ◇ 本人の本質そのものを受け入れて頂けることにより、潜在能力を引き出してくれた!?
- ◇ 親が体験させてあげられない事を体験させてもらい、その体験の中で感じ、想像したりすることで話す内容が豊かになりました。
- ◇ 根気のない子でしたが、絵付けや型抜きに夢中になっている様子を見てびっくりしています。家に帰っても宿題をあきらめずにやるようになってさらに驚いています。
- ◇ 新しい遊びやそこで教わった事を自分の学校の友達とするようになり、遊びの幅が広がったように思います。
- ◇ ひとりっ子なので他の同級生と共に勉強や製作をすることで、協調性が高まり、物事に積極的に取り組む姿勢が生まれてきた。
- ◇ 自己アピール出来るようになった。団体で活動する事に消極的だったが、喜んで参加するようになった。
- ◇ 忙しい毎日の中で自分らしくしていただける「ほっ」とスペースを得たことで、学校にも適応していくよいきっかけを得ました。感謝です!

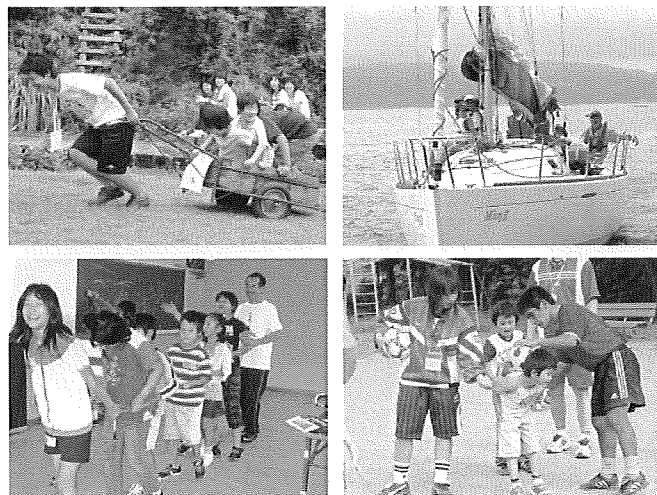


■指導員の評価

●地域ボランティアに事業に参加してよかった点を複数回答で尋ねた。結果は上位から「子どもにより体験の場を提供できた(403)」が約半数。続いて「子どもについての発見があった(365)」 「人間関係がひろがった(326)」が選択された。(n=880人) 以下は具体的な内容を尋ねた自由記述の抜粋。

- ◇ 閑静な住宅地に集う場所ができ、子どもたちの笑い顔、笑い声が聞こえ、町に活気が出てきました。近隣に住むお年寄りは子どもとのふれあいを楽しみにしています。(48歳・女性)
- ◇ 自分の経験ではもっと学校の友達と遊んでいたような気がするが、今の子どもたちは学校を離れると如何に(ラ)イ(ラ)が実感した。同時にそういう子ども達に新しい集いの場を提供できたと思う。(51歳・男性)
- ◇ 子どもたちが秘めているエネルギーは、おとなの想像をこえる。(33歳・女性)
- ◇ 子どもってかわいいなって心から思えるようになりました。私たちが普段生活する中で気づかないことに気づいたり…この活動を機に免許を取り始め、4月からは教員として働くことに。私の人生を大きく変えてくれた。(21歳・女性)

*詳しくは「子どもの居場所」づくりに関する調査研究報告書をご覧ください。



⑥近畿実行委員会

- 63 滋賀県 ☆長浜おやこ劇場
- 64 京都府 ☆京都市障害児に児童保育を保障する連絡会
- 65 京都府 ☆伏見親と子の劇場
- 66 京都府 下鴨コミュニケーションクラブ
- 67 京都府 ☆障害児児童くらぶわたり
- 68 京都府 ☆障害児児童じゅりあんこ
- 69 京都府 ☆新教育者連盟京都第二支部
- 70 京都府 ☆(特)京都八幡こどものひろば
- 71 京都府 ☆(特)山科藤崎こどものひろば
- 72 京都府 ☆(特)京都コリアン生活センター エルファ
- 73 京都府 ☆(特)わくわく自遊クラブ
- 74 京都府 ☆(特)フォーラムひこばえ
- 75 京都府 日本自立生活センター
- 76 大阪府 ☆(特)関西子ども文化協会
- 77 大阪府 ☆(特)子どもNPOセンターいづみっ子
- 78 大阪府 ☆(特) 子どもNPOはらっぱ
- 79 大阪府 エンバメントオフィススピカ
- 80 大阪府 (特)ストレスカウンセリングセンター

⑪北部九州実行委員会

- 129 福岡県 ☆板付北公民館
- 130 福岡県 pal (大きなくりの樹)
- 131 福岡県 POPMYU!
- 132 福岡県 ☆ウハウハ長尾
- 133 福岡県 サロン百松子ども広場委員会
- 134 福岡県 つつみみんなのひろば実行委員会
- 135 福岡県 ☆にこにこ子ども広場事業実行委員会
- 136 福岡県 (特)精神自由学舎 ESPERANZA
- 137 福岡県 ☆東福岡くすくす広場
- 138 福岡県 ☆子どもの居場所 ちりかもめ
- 139 福岡県 ☆(特)NPO笑顔
- 140 福岡県 ☆(特)子どもネットワーク"COCO"田川
- 141 福岡県 ☆名島公民館 なかよし広場
- 142 長崎県 フリースペースふきのとう
- 143 長崎県 ☆おぼろ子ども劇場
- 144 長崎県 体験学習クラブ さーくる
- 145 熊本県 ☆またたび
- 146 熊本県 (特)しぜん あそびまなぐらぶ
- 147 熊本県 ☆(特)フリースクール地球子屋
- 148 長崎県 佐世保子ども劇場

④北信越実行委員会

- 25 新潟県 ☆(特)加茂おやこ劇場
- 26 新潟県 (特)直のおと
- 27 新潟県 ☆亀田おやこ劇場
- 28 新潟県 ☆聖島おやこ劇場
- 29 新潟県 上越おやこ劇場
- 30 新潟県 十日町おやこ劇場
- 31 新潟県 長岡おやこ劇場
- 32 新潟県 新潟石山おやこ劇場
- 33 新潟県 ☆新潟中央おやこ劇場
- 34 新潟県 ☆新潟西おやこ劇場
- 35 新潟県 にいがた聴覚障害者支援研究会
- 36 新潟県 フリースクールほつといっぶく
- 37 新潟県 ☆まきおやこ劇場
- 38 新潟県 もりにこ!Down
- 39 新潟県 ☆(特)三条おやこ劇場
- 40 富山県 フェアリーネッツ
- 41 富山県 富山おやこ劇場
- 42 富山県 ☆富山表現活動の会"TRY'S"
- 43 石川県 ☆日常生活支援サポートハウス
- 44 長野県 上田子ども劇場
- 45 新潟県 柏崎子ども劇場

①北海道実行委員会

- 1 北海道 ☆(特)子ども文化のひろばいっおんととかち
- 2 北海道 ☆(特)子ども・コミュニケーションいしかり
- 3 北海道 ☆ひばりワクワクドラマ教室実行委員会

⑨岡山実行委員会

- 106 鳥取県 遠足計画
- 107 鳥取県 ☆(特)しなほ子どもセンター
- 108 岡山県 ☆いちのみや子ども劇場
- 109 岡山県 (特)子どもととも交流会
- 110 岡山県 タップ
- 111 岡山県 (特)いきいきネットワーク2 1太
- 112 岡山県 ☆ニコネット
- 113 岡山県 ☆(特)あとりえはらっぱ
- 114 岡山県 ☆(特)みる・あそび・そだつ 津山子ども広場
- 115 岡山県 ☆(特)子ども劇場登岡センター
- 116 岡山県 ☆(特)子ども達の夢をみる ひこうせん
- 117 岡山県 ☆(特)赤松子どもNPOセンター
- 118 岡山県 高松子ども劇場

⑩中四国実行委員会

- 119 鳥取県 ☆(特)舞台芸術環境フォーラム
- 120 広島県 いちえの会
- 121 広島県 ☆子どもステーション
- 122 広島県 ☆(特)三木おやこ劇場
- 123 広島県 ☆(特)子どもコミュニティネットひろしま
- 124 山口県 ☆劇団楽園街
- 125 山口県 ☆子どもとしよかん タイムマシン
- 126 山口県 ☆(特)うべ子ども2 1
- 127 愛媛県 ☆(特)アートインライフ 四国センター
- 128 山口県 家庭教育コスモス

②東北実行委員会

- 4 青森県 ☆(特)弘前子どもコミュニケーショングループ
- 5 岩手県 ☆いわてアートサポートセンター
- 6 宮城県 ケンサッカーファミリー実行委員会
- 7 宮城県 ☆せんだいメディアテーク

③千葉実行委員会

- 8 千葉県 ☆酒々井子ども教室「アツくん」実行委員会
- 9 千葉県 ☆(特)こどもユニットWakaba
- 10 千葉県 (特)まはら子育てネットワーク
- 11 千葉県 ☆(特)戸子子ども劇場
- 12 千葉県 ☆(特)いちかわ市民文化ネットワーク
- 13 千葉県 ☆(特)四街道子どもネットワーク
- 14 千葉県 (特)子どもネット八代
- 15 千葉県 ☆(特)新しい学校づくりをめざす「おーふん」どあプロジェクト
- 16 千葉県 ☆(特)生きがい学園
- 17 千葉県 ☆(特)厚田子ども劇場
- 18 千葉県 ☆(特)緑区子どもサポートセンター
- 19 千葉県 ☆(特)ほのぼのスポーツクラブ
- 20 千葉県 (特)ゆーたんぐ
- 21 千葉県 ☆(特)市川子ども文化ステーション
- 22 千葉県 (特)NPO佐倉子どもステーション
- 23 千葉県 野田文化研究会
- 24 千葉県 ☆流山おやこ劇場

⑧奈良実行委員会

- 86 奈良県 ☆えんがわ文庫運営グループ
- 87 奈良県 ☆かしの家福祉作業所
- 88 奈良県 ☆くるみの会
- 89 奈良県 やまと福山環境を良くする市民の会
- 90 奈良県 子ども舎"宙"
- 91 奈良県 ☆(特)総合教育研究所
- 92 奈良県 ☆鳥見地区休日あそび隊実施推進協議会
- 93 奈良県 ☆丘山教育ネット
- 94 奈良県 (特)奈良県民環境ネットワーク
- 95 奈良県 ☆(特)フォーギーマウンテンネットワーク
- 96 奈良県 ☆(特)清華
- 97 奈良県 ☆(特)奈良NPOセンター
- 98 奈良県 あさひデイサービスセンター
- 99 奈良県 ワールドヒューマンブリッジ
- 100 奈良県 ソステナレジャー2002
- 101 奈良県 すぎのこ座
- 102 奈良県 奈良ストップ温暖化の会
- 103 奈良県 ゆめづくりあそび屋
- 104 奈良県 地球の宝を守り隊
- 105 奈良県 いこま稲田クラブ

⑤東海実行委員会

- 46 岐阜県 ☆神戸・池田おやこ劇場
- 47 愛知県 ☆CSN豊橋
- 48 愛知県 ☆CSN名古屋
- 49 愛知県 ☆キッズカレッジちくさプロジェクト
- 50 愛知県 ☆キッズバース実行委員会
- 51 愛知県 (特)大山市民活動支援センターの会
- 52 愛知県 ☆(特)リシオ松岩スポーツクラブ
- 53 愛知県 ☆パワーステーションC&Y実行委員会
- 54 愛知県 ☆てんばくプレーパークの会
- 55 愛知県 ☆(特)地での子どものサポートを考える会
- 56 愛知県 (特)子育てネットワーク あすなろ
- 57 愛知県 ☆NPOびすまかぶさ
- 58 愛知県 ☆(特)子どもと文化の森
- 59 愛知県 WAKUDOKIプロジェクト
- 60 三重県 志摩子ども教室
- 61 和歌山県 新宮東牟婁おやこ劇場
- 62 愛知県 KS1子ども塾

★全国民間団体運営連絡協議会直轄事業

- 163 栃木県 ☆アブテックスマツ
- 164 栃木県 和のメソッド栃木支部
- 165 栃木県 ☆(特)宇都宮子ども劇場
- 166 群馬県 ☆桐生産方工場運営委員会
- 167 群馬県 ☆前橋おやこ劇場
- 168 埼玉県 入間おやこ劇場
- 169 埼玉県 ☆(財)前教育者連盟 埼玉支部
- 170 埼玉県 ☆彩の国県南おやこ劇場
- 171 埼玉県 ☆スポーツを楽しむ会
- 172 埼玉県 ☆さいたま子ども劇場
- 173 埼玉県 ☆広域おやこ劇場ひき北いるま
- 174 埼玉県 ☆所沢市西地区総合型地域スポーツクラブ
- 175 埼玉県 (特)＜和のメソッド＞
- 176 埼玉県 ☆(特)アートインAsibina
- 177 埼玉県 ☆所沢クラドラタウン実行委員会
- 178 埼玉県 ☆入間市文化創造委員会
- 179 東京都 (特)IGC
- 180 東京都 ☆(財)前教育者連盟
- 181 東京都 ☆たすけあいワーカズこっこん
- 182 東京都 ☆(特)東京ちどれん
- 183 東京都 ☆(特)清瀬子ども劇場
- 184 東京都 どんぐり
- 185 東京都 西東京子どもドラマ塾実行委員会
- 186 東京都 ☆東村山子ども劇場
- 187 東京都 ☆小平子ども劇場
- 188 東京都 ☆東大和子ども劇場
- 189 東京都 ☆(特) みんなのそら
- 190 東京都 ☆(特)子ども文化のNPO子ども劇場西多摩
- 191 東京都 ☆(特)多摩子ども劇場
- 192 東京都 ☆(特)八王子子ども劇場
- 193 東京都 ☆(特)泉山自由学校
- 194 東京都 ☆(特)那珂野瀬海者ネットワーク2 1
- 195 神奈川県 ☆(特)横浜シニタイナー学園
- 196 神奈川県 ☆ART LAB OVA
- 197 神奈川県 明神神楽会
- 198 神奈川県 ☆みんなのひろば
- 199 神奈川県 ☆横浜やっしゅ劇
- 200 長野県 ☆(特)ウォーキング普及協会オナルプロ
- 201 長野県 あさみ子ども教室
- 202 埼玉県 みんな元気会
- 203 埼玉県 鶴ヶ島イレブン
- 204 神奈川県 (財)前教育者連盟神奈川支部
- 205 長野県 どんぐり方向塾

⑬沖縄実行委員会

- 162 沖縄県 ☆沖縄市・あしびな自主事業実行委員会

⑫南部九州実行委員会

- 149 大分県 (特)フリースペースはる
- 150 宮崎県 ☆本城えほんの郷 みどりのゆりかご協会
- 151 宮崎県 ☆社団法人茶道義千家交流会宮崎支部
- 152 宮崎県 ☆桑木村中央地区放課後児童クラブ
- 153 宮崎県 みずみずクラブ
- 154 宮崎県 ☆(特)よたけ舞 ハートM(心叶夢)
- 155 宮崎県 ☆(特)子どもセンター
- 156 宮崎県 (特)マゼスハウス
- 157 宮崎県 上長エンゼル児童館
- 158 宮崎県 ☆(特)みやぎ子ども文化センター
- 159 鹿児島県 (特)鹿児島プロコンス
- 160 鹿児島県 ☆(特)SCC
- 161 鹿児島県 ☆(特)川内スポーツクラブ01

☆印=継続2年目

2006年度 地域子ども教室実施 205団体一覧

地域子ども教室 全国民間団体運営連絡協議会 事務局
(特)NPO推進ネット
(特)子どもNPO・子ども劇場全国センター

Email: ibasyo-kyogikai@npo-suishin.net

〒106-0032 東京都港区六本木4-7-14 みなとNPOハウス3F

TEL: 03-5785-1570 FAX: 03-5785-1571

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	地域子ども教室融合研運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	学校と地域の融合教育研究会地域子ども教室本部事務局
(担当者)	運営協議会 会長 庄子 平弥
(連絡先) TEL FAX E-mail	TEL 0 2 2 - 2 1 4 - 2 0 6 5 FAX 0 2 2 - 7 2 3 - 0 8 9 2 E mail yugouken@zundanet.co.jp
(ホームページ)	HP : http://www.yu-go.info/ ブログ : http://blog.goo.ne.jp/yugo-kodomo/
広報のポイント	<p>本会は、学校と地域の融合教育の積極的な推進を目的として活動してきた教育団体である。</p> <p>これまで行なわれて来た「子どもの居場所づくり事業」は、本会の活動目的達成のため乗り越えなければならない大きなハードルであり、実証実験の場として最も相応しい事業であるとの認識のもと、平成18年度は全国35ヶ所で子ども教室を運営した。</p> <p>地域と出会った子どもたち、地域が出会った子どもたち、それぞれ新鮮な発見があり、地域のおとな、子ども、その保護者、学校、教育委員会、或いは行政がそれぞれに緊密な連携の下に教育を考え、教育に関わる重要性について認識を日々新たにすることが出来た。</p> <p>各教室の活動現況は、ブログをご覧ください。</p> <p>新年度事業には要請があれば、積極的に協力する用意がある。</p>



学社融合フォーラム2006 in 仙台 地域子ども教室研修会



日時 ● 2006年10月14日(土) 13時から
● 2006年10月15日(日) 9時から
会場 ● 仙台市立黒松小学校

14日

- 13時～ 融合フォーラム2006 in 仙台 開会
- 13時15分～ 基調報告「キャリア教育への取り組み」(14時まで)
※ 昨年の記録映像を元に、そのねらい、内容など、詳しく説明を行う。
- 14時15分～ パネルディスカッション I
「教育の新しい姿を求めて～キャリア教育への取り組みを通して～」
- 16時00分～ ポスターセッション
※ 地域子ども教室の実践報告を行う。
- 16時45分 閉会(会場移動)
- 18時30分 大懇親会(バレスへいあん)

15日

- 9時～ 仙台市地域子ども教室研修会 開会
- 9時20分～ 実践発表(5教室)
- 10時10分～ パネルディスカッション II
「地域子ども教室の成果について」
- 11時50分～ 仙台市地域子ども教室研修会 閉会
- 13時 融合研運営協議会(15時終了予定)

主催

仙台市地域教育力再生プラン運営協議会・学校と地域の融合研究会東北支部
地域子ども教室融合研運営協議会

後援

仙台市教育委員会

平成16年、子どもが関係する重大事件の続発等をきっかけに、文部科学省は緊急3ヶ年事業として「子どもの居場所づくり～地域子ども教室推進事業～」の実施を決定しました。あれから2年半、状況は改善されたのでしょうか？最近では、一番身近な家族に対する殺傷事件が立て続けに報じられるなど、ますます悪化しているように思えます。

私自身「地域子ども教室」を立ち上げたとき、新しい取り組みを危惧する声もありましたが、試行錯誤の活動の中で、一人また一人と仲間が増え、学校・地域の理解も深まり、やっとこの頃、地に足のついた活動と実感できるようになりました。何より、リピーターの子どもの増え、地域の大人との新しい人間関係が生まれてきたことが一番の収穫といえるでしょう。時間はかかりますが、地域に新しい形の「教育力」が確かに生まれていることを、この会場でご確認ください。そして引き続き皆さまのお力をお貸しください。

早くから学校教育と社会教育の融合を目指し、先駆的な活動と研究をしていらっしゃる「学校と地域の融合教育研究会」とご一緒できることを、心から感謝いたします。

仙台市地域教育力再生プラン運営協議会 会長 山川 由紀子

.....

今回の研修会は、多くの皆様のご協力で、このように爽り多い研修を行なう体制が整いました。ご協力いただきました皆様にもまずもって感謝いたします。

仙台市教育委員会が運営する地域子ども教室と合同の研修会となりましたが、今後は地域ぐるみで子ども達の幸せを守り、安全で安心して学び、存分に遊ぶことの出来る地域をつくって行くための協働体制づくりの素晴らしい体験活動であると思います。

新しい方向性を確かなものとするための試金石として学び取ってお傳りいただければ、望外の喜びでございます。

地域子ども教室融合研運営協議会 会長 庄子 平弥

発表
事例

1

子どもクラブ「住吉だいっ子」

仙台市子ども教室—住吉だいっ子

住吉台は仙台的北西、泉が岳のふもとに位置する新興住宅地です。

住吉台小学校は、昭和63年、226名でスタートし、10周年時は1200名のマンモス校。

人口は急増しましたが、お互い知らない人ばかりで、地域としての問題は多く、悩みは大きかったです。「地域の子どもは、地域で守り育てたい。」と学校・PTA・地域が協力し模索し始めました。そんな1つが太鼓で、その太鼓を核として「地域子ども教室推進事業」に参加して3年。学校と様々な地域の方々の協力を得ながら、試行錯誤で少しずつ居場所を増やしてきました。たくさんの子どもの笑顔に出会い、安心して安全な子どもの居場所には、たくさん大人の力が必要なことも実感しました。地域力ある街づくりはまだまだ続きますが、学校を軸とした地域のネットワークづくりに少しは貢献できたかもしれない。本日はそんな私達の活動を紹介させていただきます。



反田 恵美子

小松島子ども教室

仙台市子ども教室—小松島子ども教室

「小松島子ども教室」は、平成17年度仙台市から「地域子ども教室推進事業」として委託を受け、本年度で2年目を迎えます。同じく、平成17年に小松島小学校校庭に新設された、小松島児童館を中心に、校庭、地域での活動を行っています。

民生児童委員さん、保護者の方、地域で活動している団体の方と連携し、地域に根ざした多様な体験活動、交流活動などの機会を創出してきました。子たちが地域の人々と交流できる機会を設けることで、人の付き合い方を学んだり、社会のルールを身につけたりする力を育むことを目的に活動しております。

本日は、小松島子ども教室の取り組みを紹介させていただきます。

武田 陽子



「遊YOU広場」の活動について

ゆうこう子ども教室—北海道遊YOU広場

「遊YOU広場」は地域のボランティアスタッフと教育委員会によって、今年6月からスタートした新しい地域子ども教室です。

月2回程度、水曜日の放課後や土曜日に枝幸小学校を会場として活動しています。これまでにスポーツ、自由遊び、しゃぼん玉作り、竹とんぼ作り、読み聞かせや紙しばいなどを行ってきました。

また、教育委員会などで行った事業のこうもり探検や巡視船体験航海などに「遊YOU広場」として参加し、ふだんではできない体験をしました。また、地域の子ども会リーダーによるお祭りに出店し、地域の中での活動にも挑戦しました。

子どもたちの参加は、多い時には60名以上にもなるため、少ないスタッフで毎回てんてこまいですが、地域のいろいろな人たちの力を借り、肩の力を抜いて楽しみながら活動していこうとみんなでがんばってます！

森 智恵子



四街道地域子ども教室「まじゃりんこ」

ゆうこう子ども教室—まじゃりんこ

「まじゃりんこ」は、千葉県や四街道市が実施した「共に築く地域社会」事業に結集したNPO等10数の市民活動団体の「子ども達を地域ぐるみで育てたい」という願いと、融合研の理念とが結びついて誕生。

イベントや講座頼りではなく、不登校や引き籠もりなどの子どもを含めそれぞれの想いに即して過ごせる居場所を目指し、土・日を含めほぼ毎日開所。現在、学校や地域で孤立しがちな子や保護者が外国人の子なども来所し、多い日は20名近く、少ないときには0という日もある。

子ども達を「見守る」さぼおとさんには、10歳代の短大生から70歳を超えた人など全年代がおり、その中にはニートと言われる青年もいる。そして、それぞれの個性や考え方で見守っている。子どもにも大人にとっても人間体験の場にもなっており、文字通り「まじゃりんこ」である。

今では、児童家庭課や教委社教課が子どもに関する行政を進める際の有力な相談相手にもなっている。



江口 勝善

芝川町学社融合事業「オペラをつくろう2006」

ゆうこう子ども教室—静岡県芝川町子育て広場

平成18年2月、芝川中学校敷地内に町の文化ホールと学校の講堂を兼ねた複合的文教施設「くれいどる芝楽」が完成しました。これを機に、この施設が町民の文化発信の基地となり、子どもから大人までの地域住民が温かくふれあうことができる空間とすることを目的に、本事業が計画されました。学校にとっては、地域と共に歩む特色ある学校づくりの第一弾です。オペラは、地域の伝説を題材に、本町の特産である竹をふんだんに活かした『かくや姫』と決めました。

活動は5月から始まり、80人を越えるスタッフが、12月9日(昼・夜2回)の公演を目指して練習や舞台装置などの制作に励んでいます。役割も出演者だけでなく、舞台監督、照明、美術、衣装と幅広い範囲に及んでいます。学校は、水曜日の放課後は、部活動を全て中止して、希望者が全員参加できる態勢をとっています。



西川 初子

仙台市子ども教室

仙台市教育委員会・仙台市地域教育力再生プラン運営協議会

仙台市地域教育力再生プラン運営協議会では、14実行委員会で、16教室を開催しています。各実行委員会の持ち味や地域の特性を生かしながら、楽しくユニークな活動を展開しています。

朝生子ども塾



「遊び塾」でシャボン玉をつくっています

太白アフタースクール



陶芸教室の様子です

西中田コミュニティスクール



今こみこみー暮らしの「こみこみー」で、おひるのこみこみー。こみこみーのこみこみー。こみこみーのこみこみー。こみこみーのこみこみー。

子どもクラブ 「住吉だいっ子」



夏まつりで太鼓をたたいています

のびすくジュニア



小さい子のお世話をしながら、七夕飾り

キッズスペース・エル



七夕飾り製作中の様子

アクティブルーム☆ 青葉っ子



バランスボールを使っているところです

アクティブルーム☆ 湯元っ子



さかなつかみ風景

西公園プレーパーク



外で遊ぶ子どもたちの声を

そよかぜ広場



新聞を折って子どもと先生がボランティアを交えた
木工教室の様子

いちなぎか子ども教室



牛子ノックを使って紙すきをしています

小松島子ども教室



まつもとんぼし(2000年7月)
児童館の閉鎖より、そうめん七折しを再開しました

夢工房



向井に遊ぶ子どもたち
タンポールのフォトフレームを作っています

生き生き中山っ子教室



料理調理材料と遊んでいる「クッキングスクール」

東宮城野あけぼの教室



縄から綱糸をとっているところです

緑風アフタースクール



じゃがいも畑の除草をしています

ゆうごう子ども教室

学校と地域の融合研究会・地域子ども教室融合研運営協議会

「地域子ども教室融合研運営協議会」は、「学校と地域の融合教育研究会(略称 融合研)」が運営する団体です。融合研は全国組織で、現在約300名が入会しています。

遊YOU広場



65名参加!大きなシャボン玉作り

うたのぼり放課後 「みらっと」たまり場



今日のプールは特別開放!

青森中央キッズカレッジ



キャンパス内の拠点、通称「キッズの部屋」

あいぼら子どもバビリオン



夏の夜行魚と背に赤いあんどん火のこけしです

築波ドリーム



遊び感覚で身体を動かすことを楽しんでいます

スマイルパーク追ヶ丘



茶せんで泡だてるとって楽しい!

fmいずみキッズラジオ



ラジオ島のスタジオで録音中だよ

ゆうごうまなびなっと泉



七北田川の四季 七北田ダム編

わいわいパーク黒松



レッツトライ ヨガ!体がイタ〜イ

桜舞ふるさとオペレッタ教室



桜舞ふるさとオペレッタ2008(第9回)
[真]

西街道地域子ども教室 "家じゃりんこ"



リサイクル工作=喜力賞円製作

融合研習津わくわく チャレンジ坂田教室



体験講座(津軽三味線)の様子です

ふじのみや 野あそび会



只今、ポニーと一緒に散歩中〜!

久米わくわくチャレンジ教室



大学生企画の学び・体づくり

きんしゃいきんぱす



地域の方々に見守られながら

遠見塚YOU-GOクラブ



糸車?空缶戦車づくりに挑戦しよう

ゆうごう子ども放送局



開局1周年 周ちなく放送500に記念に!

中志津WalWal広場



子どもたちだけでつくったすろろくです

融合研習津わくわく チャレンジ大和田教室



体験講座(カード作成)の様子です

芝川町子育て広場



オペラ(はぐり組)の演劇鑑賞〜第一巻〜
夏休みの中学生による鑑賞とりのりの様です。

あたごっこくらぶ



みんな真剣にノリの世界に没っております

宮えぼる遊びの広場



大丈夫かな?キャンプのお箸作り風景

ミューズかのっこ広場



大きなかむこえをかなげながら友誼太鼓を練習中

北光クラブ子ども教室



大学生と楽しく製作!

融合研習津わくわく チャレンジ人見教室



パソコンの活用に特化した教室です

育っ子クラブ



みんな だんだん 上手になってきました

光が丘中子ども大活躍教室



フェスティバル実行委員会の様子

おちっ子体験クラブ



ホテルいっばいの川になりませうように

滝路(おしよる)っ子くらぶ



はやく、名人になりた〜い

大倉子ども教室



大倉子ども教室は毎週日曜日の朝、野の鳥の鳴き声で始まる。PTAの協力で活気にあふれています。

秋津・地域で遊ぼう!



どきどき、勇ましく、みんな笑顔で、一緒に食べよう。一緒に食べよう!みんな笑顔

融合研習津わくわく チャレンジ岡西教室



体験講座(将棋)の様子です

ふじっこ広場



自然の中で舟作りや餅のつかみ取り

味生「育ちの森わくわく チャレンジ教室」



第1,4金曜日「遊びの部屋」

つわぶきわくわく広場



18年度記念すべき朝!目「ツリーハウス作り」

ゆうごう子ども教室
については、ブログ
[http://blog.goo.ne.jp/
yugo-kodomo/](http://blog.goo.ne.jp/yugo-kodomo/)
をご覧ください。

●主な活動●

子どもたちの社会参加体験や遊びを通して、子ども同士の育ちの輪をはぐくむ活動。

●活動の特色●

航空は地域・市民団体、NPO、企業の代表者で運営しています。

大人の持ち味を出し合うことだけでなく、中高生の若い力や、地域づくり圏になる人づくりを大切に、子どもと大人が共に高め合うことを目指しています。

あらかほの アルバム!



ふれあい学びネットいずみ 活動報告



●利用施設／学校利用先 ●開催日／毎月第1回金・土・日 ●開催回数／年間46回

事務局／ふれあい学びネットいずみ 事務局 長崎県佐々木町センター TEL 023-373-8101 e-mail izumi@fukui-net.jp

ふれあい学びネットいずみ

大人と子どもが
力と知恵を出し合って
地域の元気の輪を
もっともっと広げます！



ふれあい学びネットいずみ

七北田の地域がもっと元気になる！

私たちの地域は、仙台市立七北田中学校区の子どもたちが地域に夢を届けています。七北田小学校、野村小学校、市名坂小学校の3つの小学校の子どもたちが主催です。7月には中学生ボランティア奉仕団として、キャンプボランティアのスタッフ会を行いました。

中学生ボランティアの目的は、地域を元気にしたい、そして、このキャンプでは小学生・中学生・高校生・大学生、そして大人たちの交流も視野に入れています。私たちは、市民センター(公民館)が子ども支援を始めた、地域の核としての在り方も模索しております。後援ですが「夢は大きく」でも地道に活動を続けていきたいと思います。

主な活動と私達の特色

子どもたちの「社会参加体験」や「あそび」を通して、子ども同士の育ちの輪を大きく広げ活動しています。地域、市民団体・NPO・企業の代表者で運営しています。大人の持ち味を出し合うことだけでなく、中・高年生の若い力や、地域づくりの糧になる人づくりを大切に、子どもと大人が共に高め合うことを目指しています。

ふれあい学びネット いずみ のメンバー紹介

- 野村小学校 ● 「小さいことは、良いことだ」を合い言葉に、行事に力を入れています。親子代々にわたって活動している家族も多く、校区民が力をつけて支援をいただいています。
- 野村小学校PTA ● 野村小学校PTAです。強が校は、児童数約57名と非常に小さな小学校ですが、PTA活動はとてもしっかりと。みんな二役三役こなしています。今年もキャンプ活動が主です。
- fmいずみ79.7 ● 校区が放送エリアの市民放送局のラジオ局は、地域コミュニティの情報ステーション、小中学生の取組体験の受け入れや、L・L活動などで、子どもたちの声を電話にのせて発信中。
- 泉青年会館所 ● 20歳から40歳までの志の高い青年職人の集いと育成と活動を結集して活動しています。地域社会の発展と福祉の向上に貢献し、明るい豊かな社会の実現を目指しています。
- 七北田児童センター ● 誰でも自由に遊び込める施設です。地域の方の力を頂けながら、毎月楽しい行事を行っています。昨年は泉青年会館所のみでさんと一画にコマ回しを開催しました。
- せんだい社の子ども劇場21 ● 子どもたちの舞台練習や青年館の子どもたちとの様々な体験活動を通して、子どもの豊かな感性と創造性を育むことができる文化環境づくりと子育て支援をしています。
- 泉区シニアリーダー連絡協議会 ● 08・09による泉区シニアリーダーの研修を目的とした集まりです。「キャンプだホイ」「あそびの天国」でスタッフとして参加しています。
- とうちゃんネット ● 本会は子供達の健全育成に主体的に関わり、遊びや体験等を通して地域の子供達の「育ち」を高め、子供達・地域を輝かせることを願い、P300児童の事業を企画運営しています。
- 七北田小学校 ● 創立120年を超える泉区内でも歴史のある学校の1つです。心身ともにたくましく、気力に富んだ子どもの育成を目標としています。1回～3回間のキャンプ企画になりました。
- 七北田小学校PTA ● 心豊かにたくましく生きる子どもの育成を目指しています。「キャンプだホイ」や「遊びの天国」は、子ども達を魅了しています。今年も積極的に支援してまいります。
- 七北田中学校 ● 「キャンプだホイ」や「遊びの天国」で中学生ボランティアとして活動しています。これらの活動に参加した小学生が中学生になりボランティアの輪が広がっています。
- 市名坂小学校 ● 開校して3年目、仙台市で最も新しい学校です。運動会で全校児童の思いを貫いて万国旗にした時、純粋な感動を体験して、児童同士のつながりを大切に育んでいます。
- 市名坂小学校PTA ● 興定3年目、「子供の安全を守る」をスローガンにユニークな活動を行っています。学びネットでは、「キャンプだホイ」、「あそびの天国」に参加しています。
- 遠成指導センター児童の社 ● ちょっとしたきっかけで学校に慣れなかった子どもたちを支援し、できるだけ早く学校復帰ができるよう、自立を促すための支援やアドバイスを行っています。
- 仙台市泉区社会教育主事研究会泉支部 ● 泉区内市立学校に所属し社会教育主事の資格を有する教員の集まりです。泉少年育成事業や学校と地域の連携を中心に地域のコミュニティづくりを支援しています。



● 地域子ども教育総合推進協議会/子ども教育を推進するために、学校と地域の総合教育研究会が担う団体です。仙台市に本部事務局を置き、全国20市町で、35校を組織し、子どもと子ども、子どもと大人、子どもと教師、子どもと社会が結び合えるような活動に取り組んでいます。

全国のゆうこう子ども教育を紹介しています。

● 「学校と地域の総合教育研究会(泉部、仙台部)」は1997年に結成された全国組織で現在の会員は約300人。教員、大学教授、PTA役員、主婦、会社員、民間企業経営者、記者、学習塾経営者など、幅広い分野から参加。学校と地域の双方にアウトをもちたい。また子どもにも大人にもよりの関心や学習や地域活動をもたらし学び合おうという考え方を広げて、学校と地域の新たな結びつきづくりをすすめています。2005年8月には泉部で第9回全国フォーラムが開催されました。詳しくは<http://www.yu-ko.jp/>をご覧ください。



●オベレッタにも参加!!

●物と物からぬ遊びもいろいろ

あそびの
天国



●さあ行くぞ!



●何が何ものやら戸惑ってきもする~!!



●おろった又物のははすをばいりて



●ダンボールの蓋面を作っちゃうぞ!!



●ダンボール大戦 とにかく、

あらほの ふれあって アルバム! ふれあい学びネットいずみ

大人と子どもが力と智慧を
出し合って交流の輪を広げる
地域のネットワークです!



●遊覧船 いざ、出発!

七尾川の
遊覧船
—ダム篇—



●初めてのダム海水浴

●夕飯作りには腕力が要っています



●初めてのダム海水浴!



●見物!

キャンプだ
素直



●小学校の周りにいるいるるるんだは



●ダムの展望橋中



●ダムの展望橋中2



●カヌー組み立て中



●夏はホットサンド!牛乳パックが泳ぐ

●これもジャンプ、弟のおばちゃん遊びがどう



●それっっっっっ！



●舞台は大きい！



●みんな(？)高々飛んでます

みんな
で
ジャンプ



人形
ワーク
ショップ



●ブンブン基地
人形ワークショップ

ドッチ
ボール
大会



●ドッチボール大会 白熱の会場



●みんなでジャンプは練習の時間

●出番を待つお友達

みなかまがぶえたねっ！

●おー!!もうすぐ手遊びでさようば



わくわく
タイム



●上手に遊ぶかなー?

●先達の技を見よ!



七北の
魚
一生懸命

●出陣準備完了



●はなきたブンブン基地

はなきた
ブンブン
基地



●今日のカードゲームは?



●お願・お願聞かせて!



●只今準備中



●初めて見た!身いてる!



ゆづり子ども館は、文部科学省の「地域教育力向上プラン子ども館推進事業」の協力を受けて「児童と地域の交流推進委員会」が開催するものです。
 文部科学省関東支庁 埼玉子ども館連 さいたま市教育委員会 鳩ヶ谷地区教育委員会 ゆづり子ども館 スマイルパーク旭ヶ丘

スマイルパーク旭ヶ丘
 活動報告

Smile Park

スマイル
 パーク

旭ヶ丘
 Asahikawa



放課後大好き



一緒に、子どもたちと遊びませんか？

そこは…放課が終わった直後に、
 いろんな年齢の子どもや
 大人の人達と
 「一緒に楽しく遊ぶ」場所です。

帰塾しても、留守番だったり、
 道筋に遊び相手が居ない…。
 仲良しの友達と一緒遊びたい…。
 公園や遊び場所が無い…。

そんな子どもたちが
 学校で遊べたら…
 もっと、楽しいよね。
 教室から教室だからお昼も安心。

そんな、子どもの楽しい居場所をみんなで作りませんか？

自分の趣味や好きなことを生かして楽しみたい大人、我が子や他の子ども達と一緒に遊びたい方、大募集！
 興味がある方は、是非見学にお越しください。

文部科学省関東支庁 埼玉子ども館連 さいたま市教育委員会 鳩ヶ谷地区教育委員会 ゆづり子ども館 スマイルパーク旭ヶ丘 〒325-0807

お問い合わせ先 埼玉子ども館連 さいたま市教育委員会 文部科学省関東支庁 文部科学省関東支庁 スマイルパーク旭ヶ丘 電話 022-214-2085

スマイル
 パークって
 どんなところ？

放課が終わった直後に、いろんな年齢の子どもや大人の人達と一緒に、遊びながら楽しい時間を過ごす「居場所」です。

その居場所を
 どんなことを
 しているの？

楽しく遊んだり、読書したり、面白い映画を作ったり、不思議な工作やパソコンの操作まで面白いプログラムがいっぱい。

文部科学省関東支庁
 スマイルパーク
 旭ヶ丘





放課後の居場所はこの時間からはじまるよ!

申込期間：火曜日～午後2時の0分

申込締め：水曜日～午後2時

終了時間：午後4時

- お申し込みの注意** ー◇申し込みが定員を超えた場合は、抽選で参加者を決めさせていただきます。
- 子ども保護手帳** ー◇参加申し込み後に、高学年に同封するよう「子ども保護手帳」をお届けします。当日お子さまにお渡しさせていただきます。(子ども保護手帳がない方は参加OK)
- 運動もOK!** ー◇児童の皆さんは、必ず読書などの仕事を終わらせてから来てください。遅れても大丈夫です。
- 飲食はOK!** ー◇集合時に人数調整をします。また、下校時は保護者の方のお迎えをお願いします。
- 参加費について** ー◇参加費(各自が使用する材料などの費用)は、当日入口で徴収します。少額でも楽しくたのむように、封筒(使い古しのものでもOK)に入れて封をし、学年・組・名前を書いて持たせてください。教室に来るまでに、出したりしないよう、お子さまに伝えてください。
- 持ち物** ー◇持ち物は道具袋など学校に持参しているものを使用してもいいです。終了後、教室へ戻すよう声掛けいたします。
- 参加の時間** ー◇当日参加予定で不参加の方は、参加開始時間前までに事務局(22-214-2088)へ「スマイルパーク相ヶ丘」を欠席します」と連絡をお願いします。(学校を欠席の場合、連絡はいいません)
- 保護者について** ー◇万が一の場合は、PTA安全委員会からの連絡が、適用になります。

本館員に参加する子どもは、ランドセルや荷物(持ち物の袋)を持って来なくてOK!

※スマイルパーク 参加手続きの流れ

- 2ヶ月に1度発行される予定表を見て参加してみたい時間を決めよう!
- 参加申込書に学年や希望日など必要なことを記入して、ともだちA組の箱に入れて...
- 教室の開かれる日に(定員や参加費用が超過になる場合のみ)送付場所へ、届かない場合はともだちA組の箱に下がついてきます。お渡しは各教室開校日にスタッフまでお渡しをお願いします。



オリジナルのこの「手帳」を差し上げます。

「スマイルパーク相ヶ丘」と同じような教室は、日本全国で開かれています。この教室参加申込書には、「学校と地域の統合教育研究会」(NPO法人)の協賛や、各地の教室で行われている月々の読書会について、ご説明が詳しく載っています。興味のある方は、スタッフまでどうぞ!

スマイルパーク
相ヶ丘からの
お知らせです。

一緒に活動するサポートスタッフを募集中! 子どもの楽しい居場所を みんなで作りませんか?



自分の趣味や好きなことを生かして楽しみたい大人、我が子や世の子どもと一緒に遊びたい方、大募集! 興味がある方は、是非見学にいらしてください。

「スマイルパーク相ヶ丘」は現在週2回、約30~40名の児童が様々な活動に参加しています。その指導は主にサポートスタッフによって行われております。今後、活動をさらに充実させるために、活動後にお手洗いといっただけの方を募集しています。関心をお持ちの方は、ご都合のよい日にスタッフ担当から詳しい説明を聞いていただくようお願いいたします。なお、この件の問い合わせについては【PTA 鈴木のみささん(Tel.219-8330)】にお問い合わせください。

読書が終わったあと、下校時のお迎えにご協力をお願いいたします。

当教室では、下校時の安全に配慮して、地域部と一緒にまとまって帰宅できるように、スタッフが付き添ってまいります。しかし、サポートスタッフの人員が限られるため、かえって帰宅時間が遅れる場合などがあります。そこで、当教室では終了時間後に保護者の方のお迎えをお願いしております。基本的に教室の終了時間は午後4時です。その時間前に、小学校の校門口まで、参加児童のお迎えをお願いいたします。参加児童の安全に配慮するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

※保護者の方が教室運営に参加・お手伝いされた際には、お子さんは、各教室へ優先的に参加できます。親子一緒に「放課後の教室」へ遊びに来ませんか? お気軽にどうぞ!

●「学校と地域の統合教育研究会(简称:統合研)」は、1997年に設立された全国組織で、現在の会員は約800人。講師・大学教員、PTA役員、主婦、会社員、民間企業経営者、医師、学芸員・司書など、幅広い分野から参加。学校と地域の双方にメリットをもたらす。また子どもにも大人にもより豊かな学習や地域活動をもたらす学社統合という考え方を提唱。学校と地域の新たな結びつきづくりをすすめています。今年も東京で第10回全国フォーラムが開催されました。詳しくは「統合研」事務局(電話:022-214-2088 FAX:022-723-0882 E-mail:yugokan@zundaneet.co.jp)へご連絡下さい。

●地域子ども読書会(学芸員)研究会/子ども読書を推進するため、学校と地域の統合教育研究会が担っている団体です。他にも日本読書振興会、全国の200箇所、36歳児読書会、子どもと子ども、子どもと大人、子どもと保護者、子どもと社会が結び合えるような活動に取り組んでいます。



△体育館でダンス



△こんどお礼してあげよう



△ゲームで遊ぶのも大好きなんです。



△読書好きな女の子もたくさんいます。

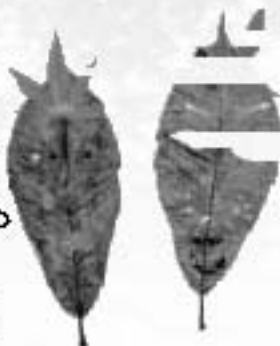


△一緒に遊ぶのが大好き！

Smile Park

スマイルパーク

旭ヶ丘
Asahikawa



△みんなで協力して作っているおもしろい作品がたくさん！



スマイルパーク旭ヶ丘はとにかく楽しい園です。
新しいあそび、不思議な体験、美味しいひととき…

放課後は笑顔が
いっぱい！

いつでも楽しい仲間と
放課後の教室で
思いっきり遊ぼう！

お母さんたち



△ずいぶん天ぷらの作り方は簡単です！



△校庭で思い切り運動が出来ます！



△作って食べるのが
大好きです。
この親子料理



△体育館でダンスが大好き！



△夏の間は水泳が大好き！



感じたままに
ピアノを弾く
のはステキな
ことね

△お母さんがピアノを弾くのを聞いて、ピアノの音で遊ぶのが大好きなんです！



△親子料理



△ピエロと一緒に読むのが大好き！



△お母さんと一緒に読むのが大好き！



△校庭で思い切り運動が出来ます！



△お母さんと一緒に遊ぶのが大好き！



△お母さんと一緒に遊ぶのが大好き！



▲並列とオセロは面白いよ!

▲大人数のコーン制作中です!



▲手作りのものがらを集めてます!



小さな机です。まるで分身の術を使ったみたい。似てるかしら?

▲パソコン制作はみんなでマジンガです! マウスもずいぶん上手になりました!



▲車の運転を覚えていったら、本当に楽しかったです!



▲アースタリオン人間プログラム「おはようおはよう」ラズク分身が作れませんか?

と一緒にご遊んでいきます!



▲おびと先生はが飼育で先生!



▲お昼の時間はみんなでピザやクッキーの作り方を習ってます!



▲おはようから読書タイム!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!



▲お絵かきの先生はスーザン!



▲お昼の時間はみんなでピザやクッキーの作り方を習ってます!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!



▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!

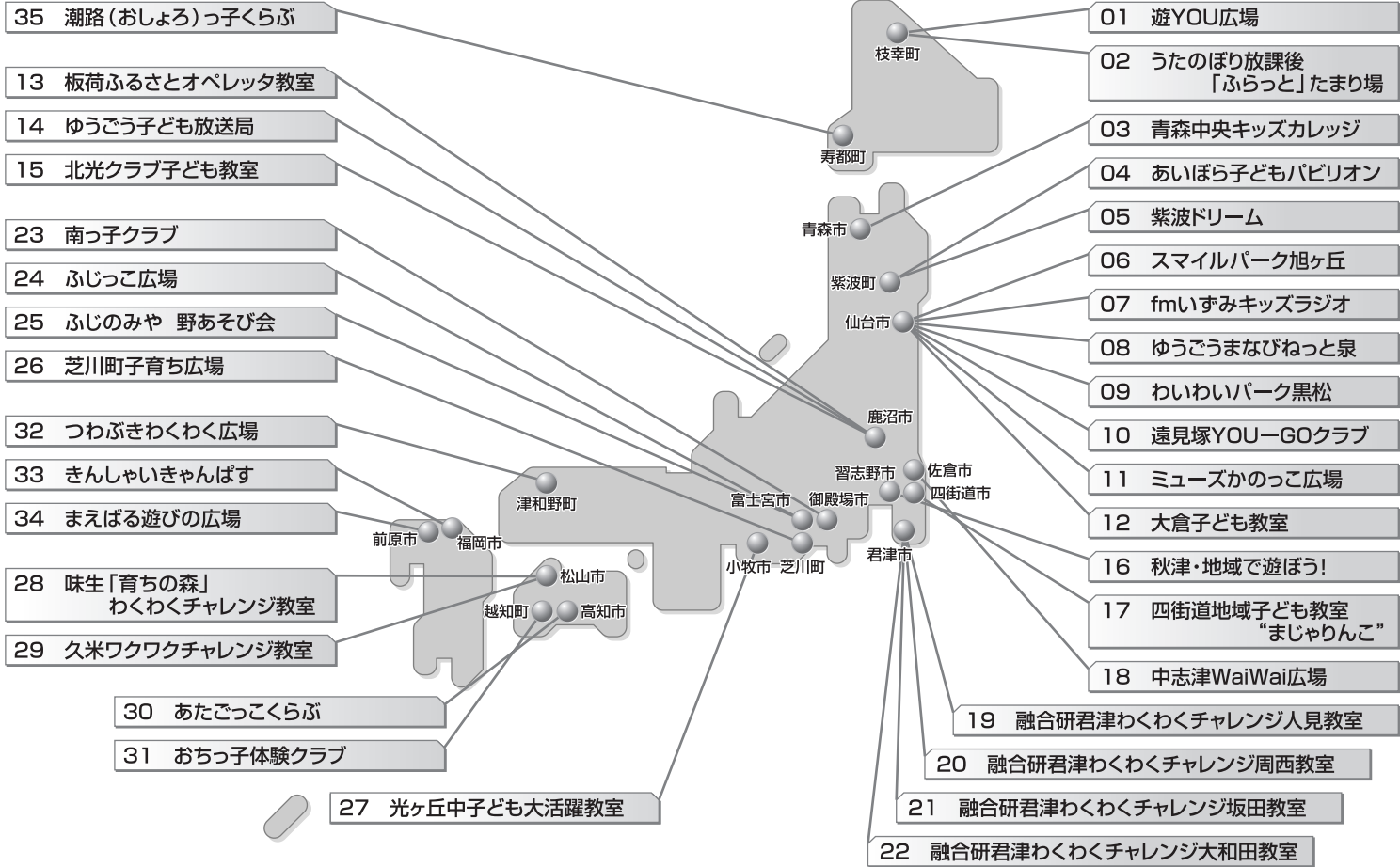


▲お絵かき大好きな、お絵かき大好き!

5

全国のゆうごう子ども教室

ゆうごう子ども教室は、融合研が文部科学省の委託を受けて開設する子ども教室です。全国20市町に35教室あります。教室の様子をブログ <http://blog.goo.ne.jp/yugo-kodomo/> でご覧下さい。



関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	財団法人 五井平和財団
問い合わせ先	
（団体名）	財団法人 五井平和財団
（担当者）	事務局・業務担当ディレクター 出口 隆之 事務局・アシスタントディレクター 中山 樹
（連絡先） TEL FAX E-mail	03-3265-2071 03-3239-0919 info@goipeace.or.jp
ホームページ	http://www.earth-kids.net/ （日本語および英語）
広報のポイント	<p>「地球っ子広場」は、地域の子どもや大人たちが自由に集い、様々な楽しい活動を通して共に学びあうために当財団が全国各地で展開する「子どもの居場所」です。和気あいあいたる人と人とのふれあいの中で、異文化理解や「心と生命（いのち）」についての体験的な理解を深める活動を通じて、子どもたちのうちに愛と調和と感謝の心を育むお手伝いをしています。</p> <p>「地球っ子広場」では、大人も子どもも「3つのお約束」として、人に迷惑をかけない、自分のことは自分でする、余った力で人の手助けをしよう、を行動規範として実践しています。</p> <p>現在、下記の全国29カ所で、「地球っ子広場」の活動が展開されています。</p> <p><u>教室名、所在地、コーディネーター名、電話番号</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球っ子広場・だて（北海道伊達市）大村祐子 0142-25-6735 2. 地球っ子広場・奥州（岩手県奥州市）細川公子 0197-36-3284 3. 地球っ子広場・仙台（宮城県仙台市宮城野区）和泉日出子 022-293-2380 4. 地球っ子広場・本庄（埼玉県本庄市）堀川香織 0495-24-7076 5. 地球っ子広場・五井（千葉県市原市）照井一子 0436-74-6643 6. 地球っ子広場・鎌ヶ谷（千葉県鎌ヶ谷市）住母家美奈子 047-445-1725 7. 地球っ子広場・大田（東京都大田区）中野恵子 03-3778-0762 8. 地球っ子広場・品川（東京都品川区）原田久恵 03-3777-7014 9. 地球っ子広場・杉並（東京都杉並区）荒川恭子 03-5346-0316 10. 地球っ子広場・世田谷（東京都世田谷区）関君江 03-3428-5438 11. 地球っ子広場・小金井（東京都小金井市）池田多鶴子 042-381-0715 12. 地球っ子広場・横浜（神奈川県横浜市保土ヶ谷区）福元房子 045-353-1623 13. 地球っ子広場・川崎（神奈川県川崎市中原区）相澤弘美 044-866-4841 14. 地球っ子広場・葉山よこすか（神奈川県横須賀市、葉山町）陰久克味 046-827-1851 15. 地球っ子広場・くりのこ（長野県須坂市）山浦弘子 026-248-3771 16. 地球っ子広場・新潟（新潟県新潟市）井上眞澄 025-230-9332 17. 地球っ子広場・大野ひまわり（福井県大野市）松田幸子 0779-66-0653 18. 地球っ子広場・ふじ（静岡県富士市）山下いづみ 0545-53-2458 19. 地球っ子広場・なごや（愛知県名古屋市南区）柴田則子 052-822-7665 20. 地球っ子広場・タカラヅカ（兵庫県宝塚市）浅井恵子 0727-57-7436 21. 地球っ子広場・甲陽園（兵庫県西宮市）福岡妙子 0798-73-0130 22. 地球っ子広場・おうじ（奈良県王寺町）加藤貴子 0745-73-5036 23. 地球っ子広場・徳島（徳島県徳島市）郡節子 0886-44-0140 24. 地球っ子広場・南国土佐（高知県南国市、土佐市）田中滿意 088-852-2765 25. 地球っ子広場・福岡（福岡市城南区）上杉ちよ子 092-871-9618 26. 地球っ子広場・夢つごろう（佐賀県佐賀市）藤井文子 0952-28-3478 27. 地球っ子広場・熊本（熊本県熊本市）井上誠一 096-364-5510 28. 地球っ子広場・鹿児島（鹿児島県鹿児島市）内村真喜子 099-255-4885 29. 地球っ子広場・おきなわ（沖縄県那覇市）仲田恵美子 098-898-0596

五井平和財団「地球っ子広場」の活動内容

【沿革】

財団法人五井平和財団内に設置された運営委員会は、平成17年度～18年度の2年間、文部科学省が推進する「地域子ども教室推進事業」(子どもの居場所づくり)の委託を受け、全国各地で多数のボランティアのご協力のもと「地球っ子広場」という名称で、「子どもの居場所づくり」を推進してきました。

「地球っ子広場」では、和気あいあいたる人と人とのふれあいの中で、地域の文化習得、異文化理解、「心と^{いのち}生命」についての体験的な理解を深める活動などを通して、子どもたちの内に愛と調和と感謝の心が育まれ、それぞれが寛容と利他の意識を自らのものとしてできるようにお手伝いを続けてまいりました。その間、大人も子どもから純粋な心、無邪気な心など、たくさんのお話を学びました。大人も子どももお互いの存在に敬意を払い、共に学びあうということが私たちの目標の一つです。

展開した居場所の数は、平成17年度は全国21カ所、平成18年度は29カ所で、この間文部科学省・子どもの居場所づくり推進室、全国市区町村などの自治体・教育委員会をはじめとする行政、NGO・NPO、企業、また各国の駐日大使館、そしてすべての地域の皆様のご指導・ご協力を賜り、2年間の開催回数は、延べ3000回を越えました。

【理念と規範】

「地球っ子広場」では世代、国籍、学年などあらゆる違いを超えて、愛と笑いとユーモアを大切に、皆の心が休まる、懐かしい居場所の創出を心がけています。

「地球っ子広場」に参加する人々は、大人も子どももみんな次「3つのお約束」を実践することを約束し合い、これを行動規範としています。

3つのお約束

人に迷惑をかけない(ひとにめいわくをかけない) 自分のことは自分です(じぶんのことはじぶんです) 余った力で人の手助けをしよう(あまったちからでひとのてだすけをしよう)

この「3つのお約束」を毎回の広場運営の中で確認し合い、実践してゆくことで、自ずと倫理観・モラルが育まれてゆけばと思っています。

【地球っ子広場の具体的な活動内容】

「地球っ子広場」では人格の形成に資する「心と生命^{いのち}」の教育を最優先としつつ、和気あいあいたる交流を展開してきました。そして子どもたちの個性や特性などに配慮しながら、同時に地域の特性を生かした活動を推進しています。

これらの活動内容を4つの分野に分け、代表的なプログラムを示せば次の通りです。

1 「心と生命^{いのち}」のプログラム

心のもつ力 言葉と心の大切さ 生命^{いのち}の尊さ・ありがたさ
生命の不思議と無限の可能性
心を表現する喜び・平和の尊さ・芸術で心を形に・友達の長所を見つける
演劇にチャレンジ

2 地球理解プログラム

宇宙と地球の神秘・環境とリサイクル・自然との交流 留学生との交流
世界の舞踊や音楽などを通じた外国人との交流 民族料理の調理と会食
遊びを通じた異文化交流
地球規模での視点を育む「持続可能な開発のための教育」(国連提唱活動への参加の一環)

3 地域独自プログラム

武道教室(合気道など) 茶道の心 俳句 地域の名人紹介 町の探検
盆踊り 祭礼への参加 コメ作り・野菜作り 郷土料理の調理と会食 郷土芸能

4 遊びとコミュニケーションプログラム

室内遊び...お絵かき、折り紙、あや取り、囲碁・将棋、世界の遊び、造形・図画工作
野外遊び...砂遊び、川遊び、おにごっこ、かくれんぼ、世界の遊び
読書・読み聞かせ
その他...特定の活動を決めずに仲良く過ごす

【これからの展望】

おかげさまで「地球っ子広場」は、参加した子どもたち、保護者、指導に当たってくださった外部講師をはじめとする大勢の地域の皆様に見守られ、好評のうちに平成19年3月末を持ちまして、無事2年間の委託期間を満了し、次のステージへの飛躍を目指してゆくこととなりました。

平成19年度以降の「地球っ子広場」では、子どもの安全を心身両面から再点検すると共に、特に「心と生命^{いのち}」の教育に力点をおいて、地域の皆様とともに発展してゆくことを目指しています。

日本の教育をできる範囲で良くすることを目指す中で、「3つのお約束」を軸として、「心と生命^{いのち}」の教育に重点をおき、時代に相応しい価値観と倫理観を養える身近な場として、これからも一生懸命「地球っ子広場」の運営に努力してゆきたいと考えています。

詳しい情報は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.earth-kids.net/>（日本語および英語）

以上

（作成日 平成19年2月2日）

【活動の一コマ】



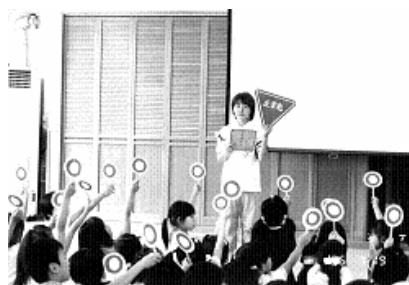
茶道を体験



消防署の方々が来て消火活動を学ぶ



みんなで万華鏡作り



交通安全を学ぶ



一本の鉛筆から世界を知る



みんなでシャボン玉飛ばし

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	おんがくっ子塾運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	財団法人音楽文化創造
(担当者)	事業局 局長 ^{わか} 輪湖一男
(連絡先) TEL FAX E-mail	TEL 03 - 5256 - 2766 FAX 03 - 5256 - 2767 E-mail : info@onbunso.or.jp
(ホームページ)	URL : http://www.onbunso.or.jp
広報のポイント	<p>(財)音楽文化創造は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律」(略称：音楽振興法)に基づいて音楽文化の振興、及び生涯学習の推進を目的として、平成8年に設立されました。</p> <p>おんがくっ子塾は、音楽振興法の趣旨に基づいて当財団が養成、認定した生涯学習音楽指導員(全国1,400名)の研究会ネットワーク(全国31都道府県)により、「音楽で心の居場所づくり」というコンセプトの元に、地域子ども教室を展開しています。更にネットワークでは文化庁の地域文化振興事業(文化芸術による創造のまち支援事業、学校への芸術家等派遣事業など)にも取り組んでいます。</p> <p>また、当財団では音楽振興法の趣旨に基づき、学習環境の整備の一環として国民に広く音楽を普及するために「音楽検定(音検)」を実施しています。</p>

おんがくっ子塾は、 (財)音楽文化創造が実施しています。

(財)音楽文化創造について

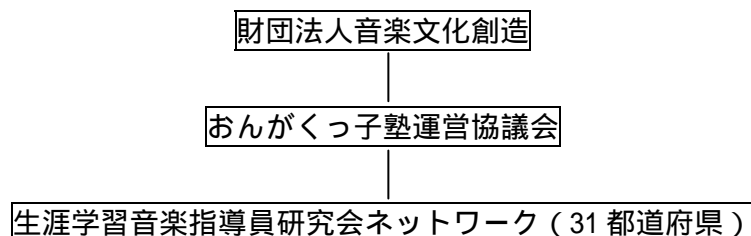
(財)音楽文化創造は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律」(略称：音楽振興法)に基づいて音楽文化の振興、及び生涯学習の推進を目的として、平成8年に設立されました。

生涯学習音楽指導員について

(財)音楽文化創造では、音楽振興法の趣旨に基づいて、地域の音楽学習や音楽活動の活性化を図るため、生涯学習に視点を置いた音楽指導者の養成をめざした講習会を実施しています。生涯学習音楽指導員は、この講習会を修了し資格を認定された指導員で、現在、全国で1,400名の認定指導員が活躍しています。

さらに、指導員としての資質の向上と活性化を図るとともに、生涯学習音楽指導員の社会的評価と活動の基盤づくりを促進することを目的として、生涯学習音楽指導員研究会ネットワークが全国31都道府県で組織されています。

おんがくっ子塾は、この生涯学習音楽指導員研究会ネットワークにより運営されています。



音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律(音楽振興法)

【目的】第1条 この法律は、音楽文化が明るく豊かな国民生活の形成並びに国際相互理解及び国際文化交流の促進に大きく資することにかんがみ、生涯学習の一環としての音楽学習に係る環境の整備に関する施策の基本等について定めることにより、我が国の音楽文化の振興を図り、もって世界文化の進歩及び世界平和に寄与することを目的とする。

おんがくっ子塾は、 音楽で心の居場所をつくります。

みんなで音楽を楽しむと、みんな元気、仲間になります。

軽快なリズムや美しいハーモニーが聞こえてくると、誰もが思わず耳をすまします。ときには一緒に身体を揺らし、くちずさみます。音楽には、人を楽しくする力があります。

この音楽の力を地域の子どもたちの居場所づくりに役立てようという活動が、おんがくっ子塾です。音楽を通して、子どもたちが学年の違う子と自由に遊びながら学び、地域の人々と交流したり、自分の考えをしっかりと伝える力を育みます。

教室の運営にあたるのは、(財)音楽文化創造が認定した、生涯学習音楽指導員です。この、音楽についての深い素養と音楽教育についての幅広い知識をもつ指導者によって、心に大きな潤いをもたらすプログラムが展開されます。

展開事例

【西宮子ども音楽セミナー】兵庫県

地域に住む、いろいろな学年の友達ができます。



5月から7月までの土曜日、計10回にわたって「わいわいアンサンブル」を開催しました。参加したのは、6~14歳の40名。小学校低学年が3分の2ほどです。中学3年生のブラスバンド体験者もいましたが、ほとんどが楽器未体験でした。

ハンドベルや琴、バイオリンを演奏するプログラムでは、この楽器は初めてという子どもたちが興味しんしんで音を出し、合奏。手話コーラスもまじえたリズム楽器のときは、進んで前に出て手話を披露したり、このときとばかり大きな声で歌う子もいて、すごいエネルギーに。

子どもたちがノリノリ、付き添いの父母も手拍子で楽しむこともたびたびで、まさに音楽は魂の薬、砂漠のオアシスと感じました。

保護者の方から「地域活動を通して、いろいろな年齢の子どもたちと活動できるのは、貴重だと思います」「学年を飛び越えた交流が、音楽を通してできたことをうれしく思います」など、異学年の友達ができたと喜ばれている感想が多く寄せられました。

ここに来ることで、音楽が楽しくなり、子どもたちが友達の幅を広げることができ、また保護者の方同士が知り合いになれば、素晴らしいと思います。

【リズムで遊ぼうドレミファソ】茨城県

おんがくっ子塾で遊んでいるうち、ルールが自然に身につきます。

「恋する時・泣きたい時・疲れた時、寄り添ってくれる『音楽』は元気と勇気を与えてくれます」
私たちの作った募集ちらしは、こんなフレーズで始まります。この募集に 100 名を超える問合せがあり、4 クラスでのスタートになりました。セッションするのは、第 1 週を除く金曜日です。

プログラムのポイントは、と言いますと…。

最低 2 回は名前を呼ぶ。

声を出す（季節の歌、なじみ歌など）

指示に従う場・自由に振るまう場がある、考える・覚える・動く

お友達とかかわる・助け合う（わらべ歌）

生演奏

教室が始まると、子どもたちの笑顔に元気づけられることの連続でした。

最初はピアノ演奏を聴きただけだった子どもたちが、自然に全員でリズム打ちを始めたり、はつらつとした顔で小物楽器を鳴らしながら踊ったり。指導員の動きを見て、自分で考えて行動するのが楽しくなったようでした。



【たのしい音楽のつどい】北海道

毎土曜に笑顔いっぱいの音楽体験。楽しいから頑張れます。

毎土曜日、午前 10 時から 2 時間活動しています（年間 30 回の予定）。参加しているのは小学校 1 年生から 6 年生までの約 30 名。

地域の皆さん、保護者の皆さんの協力を得て、子どもたちが伸び伸び過ごせる場所づくりをめざしています。学校が週休 2 日制になったことで休日の過ごし方が課題となっていることから、スタートした活動です。

前半のプログラムは、洋楽器と琴、それぞれの教室に分かれてパート練習。これを 2 週間行い、3 週目に合同合奏をしました。

曲目は「かえるのうた」「きらきら星」「うみ」など。子どもたちは、曲ごとに自分の希望する楽器を演奏することができるので、練習時の表情は真剣そのもの。「毎回練習が楽しみ。うまく演奏できたときはうれしいです」と笑顔で話す子どもたちを見ていると、指導員も楽しく、幸せな気持ちになります。

後半では、全体活動を展開。「みんなでうたおう」「音楽もの知り博士になろう」など、バラエティに富んだ内容で、子どもたちは夢中になって話を聞いたり、身体を動かしたり。会場内は歓声と笑いであふれていました。

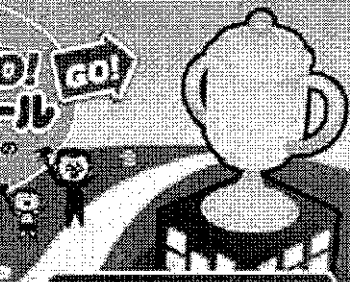
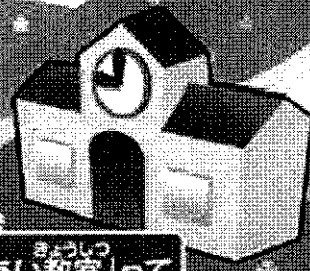
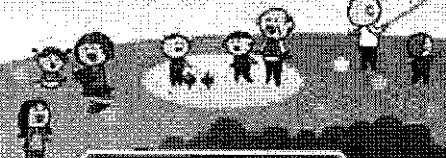
関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	財団法人日本ゲートボール連合 ふれあい教室運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	財団法人日本ゲートボール連合
(担当者)	事務局長・今川啓一、普及指導部次長・森 茂木 普及指導課課長代理・立入英吾
(連絡先)	TEL 03 - 3580 - 9397 FAX 03 - 3592 - 1427 E-mail info@gateball.or.jp
(ホームページ)	http://www.gateball.or.jp
広報のポイント	<p>本連合には47都道府県に加盟団体があり、その傘下の市区町村に各支部が存在しているため、全国すべての地域を網羅している。</p> <p>また、現職を引退された高齢者の指導者が多くいるため、平日の教室実施も多く行っており、ゲートボールをはじめとした昔遊びなど、地域に偏りがあるものの、多彩な活動に取り組んでいる。</p> <p>実績としては、核家族が増える中、子ども達への世代間交流としても好評をいただいております。</p>

子どもたちのための居場所づくり

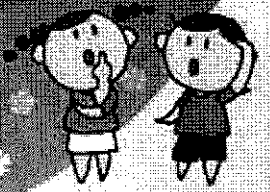


文部科学省 地域子ども教室推進事業



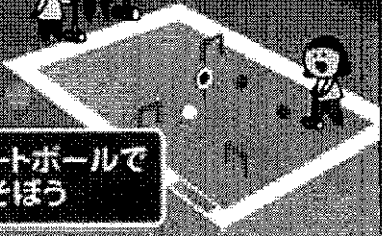
コンテスト結果発表!

どこでやってるの?



「ふれあい教室」ってなに?

ゲートボールであそぼう



(財)日本ゲートボール連合 公式ホームページ

子どもの居場所づくり

Copyright © (財)日本ゲートボール連合ふれあい教室運営協議会 All Rights Reserved.

このサイトを見るにはFlash Playerが必要です。 最新版がない方はこちらからインストールしてください。



(財)日本ゲートボール連合ふれあい教室運営協議会

ふれあい教室ホームページ

<http://www.gateball.or.jp>

(財)日本ゲートボール連合ふれあい教室運営協議会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目15番16号

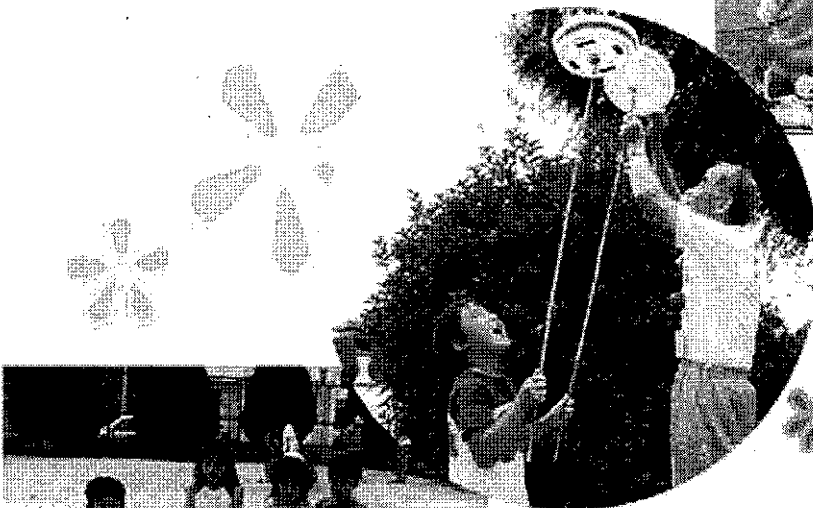
Tel.03-3580-9397 Fax.03-3592-1427 <http://www.gateball.or.jp>



ビー玉 ビー玉を弾きながらゲートボールのゲートを通していく、指導員考案のオリジナルゲーム



ベーゴマ
ベーゴマを指導員から手取り足取りで教わる



皿回し
回すのは専用のプラスチック皿だが、これがまた難しい

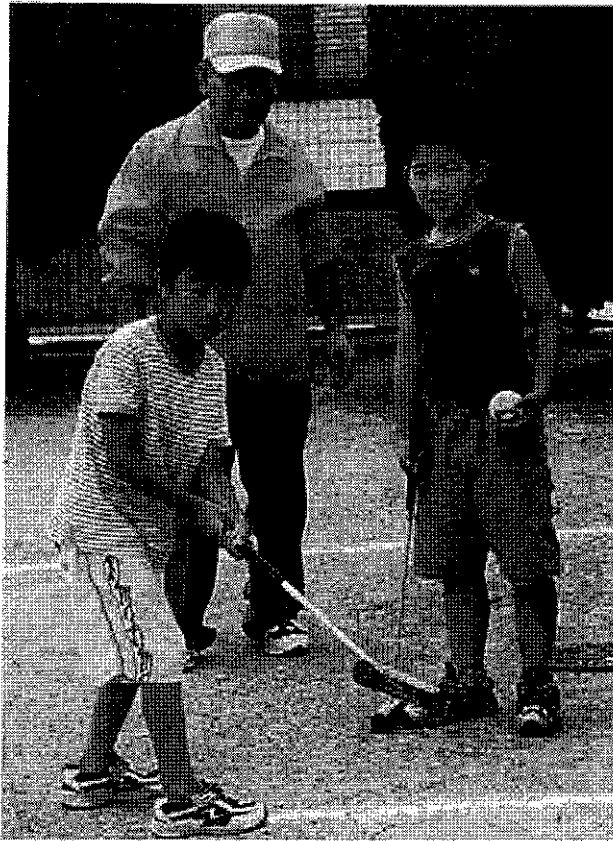


輪投げ 指定の棒にリングを多く入れた人が勝ち



自転車遅乗り競争 いちばん遅くゴールした人が勝ち、バランス感覚が必要な競技

10種目以上のスポーツや遊びに挑戦!



十軒町児童公園は、近くの小・中学校の子どもたちが放課後に集まり、ゲートボール、一輪車、ローラースケートを楽しむ「子どもの居場所」でした。さらに、この地域は、地域の人々で組織する「子どもを守る会」がパトロールに当たるなど、地域で子どもを育てようという意識に満ちていました。ゆえに「ふれあい教室」にも自然な形で参加。毎日、放課後に子どもたちが集まり、ゲートボール指導員が見守る形でスポーツや遊びを続けています。

夏休みには、指導員、学校の先生、町内会などが協力して開催し、約30名の親子が参加。ゲートボール、けん玉、ベーゴマ、コマ回し、ビー玉、輪投げ、自転車運乗り競走、クイズ&ジャンケン大会など10種目以上に挑戦しました。

「子どもたちは、様々な体験を通して、人との付き合い方なども学んでいるようです」(指導員)

*** ゲートボール** スティックとボールを使って遠くの円内にボールを進める競争



*** けん玉** 日本けん玉協会公認指導員の協力のもと、けん玉の華麗な技に挑戦

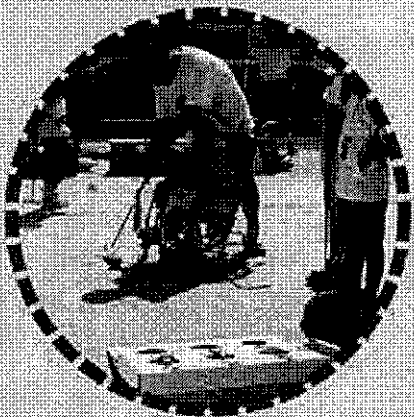
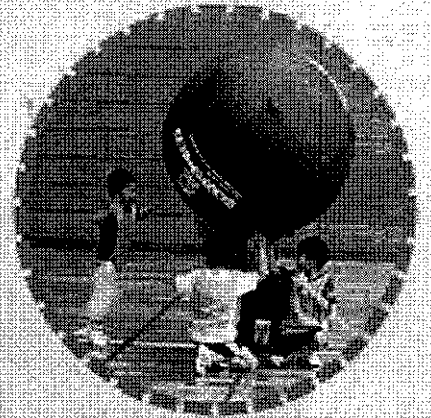


*** コマ回し** ベーゴマはできない子どもたちもコマ回しは得意

子どもの居場所づくり

ふれあい教室

ご案内



みんなで

楽しく

遊ぼうよ!



(財)日本ゲートボール連合ふれあい教室運営協議会